



BCP Setting Tool

BV400 シリーズ詳細マニュアル

- このたびは本機をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
- お読みになったあとは本機のそばなど、いつも手元においてお使いください。

目次

目次	1
1 はじめに	1
対象プリンタ	1
2 起動	2
プリンタ側	2
PC 側	3
3 準備	4
メイン画面	4
メニュー	6
ファイル	6
編集	8
表示	9
カスタム言語ファイル	10
ヘルプ	11
プリンタ	12
USB	14
Bluetooth	15
LAN	16
COM	18
環境設定	20
[インターフェース]	20
[オプション]	21
パスワード変更	23
処理画面	24
進行画面	24
完了画面	25
進行状況	26
4 機能	28
パラメータ設定	28
一般タブ	30
一般 (2)タブ	34
一般 (3)タブ	37
デバイスタブ	39
LAN タブ	43
無線 LAN タブ	45
無線 LAN (2)タブ	48
RFID タブ	50
SOTI タブ	53
メンテナンス	55
情報タブ	55
設定タブ	56
ダウンロード	60
ファームウェアダウンロードタブ	60
BASIC ダウンロードタブ	62
OpenTypeFont ダウンロードタブ	65
HTML/XML ROM 作成タブ	67
ツール	69
ツールタブ	69
外字作成タブ	71
テスト印字タブ	75

エミュレーション.....	78
Z MODE システムパラメータ設定.....	78
Z Mode システムパラメータ設定タブ.....	78
Z MODE 初期値&テーブル設定.....	84
Z Mode 初期値設定タブ.....	84
Z Mode ドライブマッピングタブ.....	88
Z Mode 応答コマンドタブ.....	89
S MODE 初期値設定.....	97
S Mode 初期値設定タブ.....	97
D MODE 初期値設定.....	102
D Mode 初期値設定タブ.....	102
D Mode 応答コマンドタブ.....	105
E MODE 初期値設定.....	109
E Mode 初期値設定タブ.....	109
I MODE 初期値設定.....	114
I Mode 初期値設定タブ.....	114
5 付録.....	117
エラーメッセージ一覧.....	117

1 はじめに

このたびは東芝テック製ラベルプリンタ用の設定ツール『BCP Setting Tool』をご利用いただき、誠にありがとうございます。

本書は、『BCP Setting Tool（以下本製品）』の各モデルの機能等の概要を記載した説明書です。

対象プリンタ

本マニュアルは以下のプリンタについて記載しています。

- BV410D-G/T (203dpi/300dpi)
- BV410T-G/T (203dpi/300dpi)
- BV420D-G/T (203dpi/300dpi)
- BV420T-G/T (203dpi/300dpi)

※本製品では、BV410D-G/T (203dpi/300dpi)、BV410T-G/T (203dpi/300dpi)、BV420D-G/T (203dpi/300dpi)、BV420T-G/T (203dpi/300dpi)を総称して BV400-G/T (203dpi/300dpi) と表示します。

2 起動

プリンタ側

印刷を行なうためのオンラインモード（以後オンラインモード）でアイドル状態のプリンタに対して実行してください。

プリンタがオンラインモードでない、または、アイドル状態でない場合、機能が実行されません。

例外として、ファイル送信とリセットの機能を使用する場合、プリンタの状態に関係なく機能が実行されます。但し、プリンタの状態によって機能が有効にならない場合があります。この場合、プリンタの電源を OFF/ON してください。

パラメータ設定で変更したパラメータの設定値は設定完了直後から反映されます。

変更するパラメータによっては、プリンタ設定や環境設定の変更が必要になります。

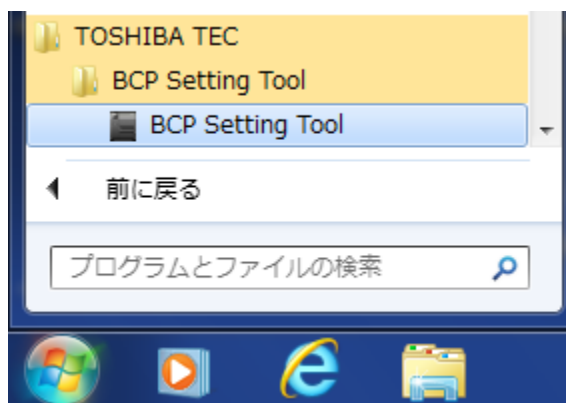
無線 LAN のセキュリティ情報を変更した場合、コンピュータのセキュリティの設定を変更してください。

LAN の IP アドレス、ポート番号、ホスト名を変更した場合、プリンタ設定が通信可能な設定に自動的に変更されます。

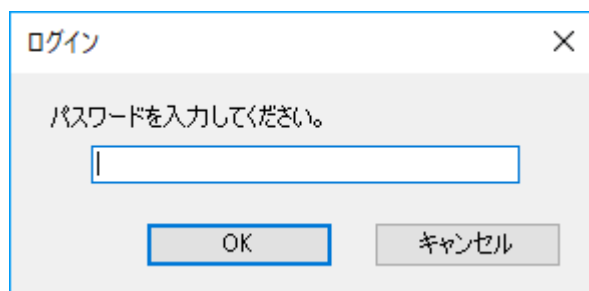
制御コードを変更した場合、環境設定が処理可能な設定に自動的に変更されます。

PC側

1. [スタート] – [すべてのプログラム] – [TOSHIBA TEC] – [BCP Setting Tool] の [BCP Setting Tool] をクリックします。



2. パスワードが設定された場合、[ログイン] 画面が表示されます。



パスワードを入力して、[OK] をクリックしてください。
[キャンセル] をクリックすると、[ログイン] 画面を終了します。
入力した文字は隠し文字で表示されます
パスワードが正しい場合、本製品が起動されます。
パスワードが間違っている場合、エラーメッセージが表示されます。

3. 本製品が起動後、[プリンタ設定] 画面が表示されます。
プリンタとインターフェースを設定して、各機能を実行してください。

3 準備

メイン画面

[プリンタ設定] 画面を表示した状態で起動されます。



メニューバー

各機能の操作を補助するための機能が使用できます。

メニューアイコン

選択した機能に切替えることができます。

アイコンをクリックすると、対応した機能がメインビューに表示されます。

選択したアイコンにはカーソルが置かれ、他のアイコンと違う色で表示されます。

プリンタ： 接続するプリンタのタイプとインターフェースの設定を行ないます。

パラメータ設定： プリンタの各種パラメータの取得、設定を行ないます。

- ・一般タブ、一般(2)タブ、一般(3)タブ： 基本的な動作や微調整に関連する設定
- ・デバイスタブ： インターフェース等のデバイスに関連する設定
- ・LAN タブ： ネットワークに関連する設定
- ・無線 LAN タブ、無線 LAN (2)タブ： 無線 LAN に関連する設定
- ・RFID タブ： RFID に関連する設定
- ・SOTI タブ： SOTI に関連する設定

メンテナンス： プリンタのメンテナンス情報の取得、初期化を行ないます。

- ・情報タブ： プリンタの自己診断・メンテナンス情報の取得・保存。
- ・設定タブ： メモリのセットアップ等に関する処理

- ダウンロード： プリンタのファームウェアのダウンロードを行います。
- ・ファームウェアダウンロードタブ： プリンタのファームウェアのダウンロード
 - ・BASIC ダウンロードタブ： BASIC プログラムのダウンロード
 - ・OpenTypeFont タブ： OpenTypeFont のダウンロード
 - ・HTML/XML ROM 作成タブ： HTML/XML の ROM ファイルの作成
- ツール： その他の機能を使用できます。
- ・ツールタブ： 選択したファイルのバイナリ送信
 - ・外字作成タブ： 外字を登録するための外字ファイルの作成
 - ・テスト印字タブ： 通信や印字品質等を確認するためのテスト発行
- エミュレーション： エミュレーションパラメータ等の取得、設定を行います。
- ・Z Mode システムパラメータ設定タブ： Z Mode のシステムモードパラメータの取得、設定
 - ・Z Mode 初期値&テーブル設定タブ： Z Mode の初期値、ドライブの割当て、応答コマンドの取得、設定
 - ・S Mode 初期値設定タブ： S Mode の初期値の取得、設定
 - ・D Mode 初期値設定タブ： D Mode の初期値、応答コマンドの取得、設定
 - ・E Mode 初期値設定タブ： E Mode の初期値の取得、設定
 - ・I Mode 初期値設定タブ： I Mode の初期値の取得、設定

ヘッダービュー

プリンタと通信する条件が表示されます。
[プリンタ] 画面で指定した設定が反映されます。

[オプション...]

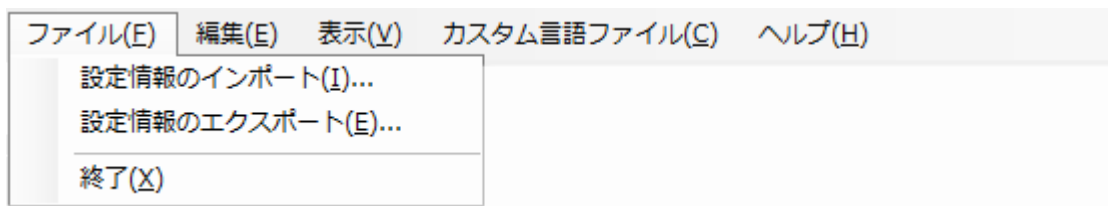
本製品の動作条件を変更するための [環境設定] 画面が表示されます。
表示言語を変更する場合、本製品の再起動が必要です。

メインビュー

「メニューアイコン」で選択したアイコンに対応した機能の画面が表示されます。
本製品で使用可能な機能は、本画面内の操作で実行します。

メニュー

ファイル



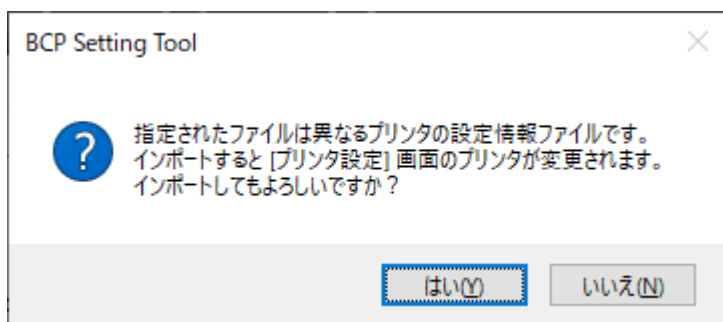
[設定情報のインポート(I)...]

指定したファイルから設定情報を読み出します。

[パラメータ設定] 画面のみで有効になります。

クリックすると、[インポート] 画面が表示されます。設定情報を読み出すファイルを指定して [開く] をクリックすると、インポートが実行されます。

設定情報ファイルが [プリンタ設定] 画面のプリンタのファイルではない場合、以下の確認メッセージが表示されます。



[はい] をクリックすると、[プリンタ設定] 画面のプリンタを変更し、インポートを実行します。

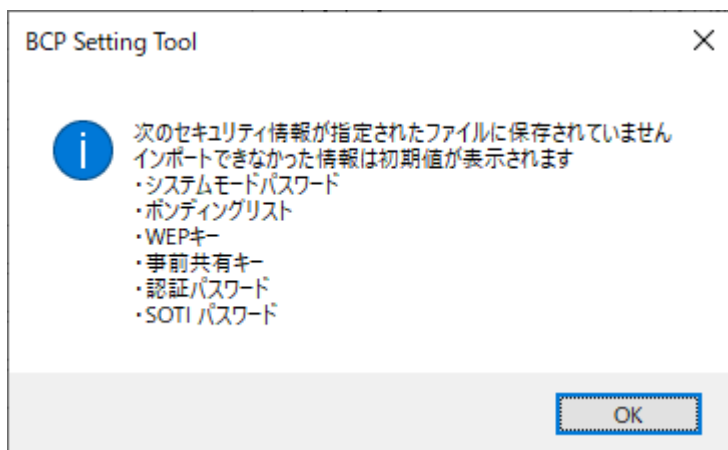
[いいえ] をクリックすると、インポートを中止します。

指定されたファイルが設定情報ファイルではない場合、エラーメッセージが表示されます。

保存したときの設定画面の状態を再現することができます。

パラメータの設定値以外に各グループのチェックボックスの設定も再現されます。

指定したファイルにセキュリティ情報が無い場合、以下のメッセージが表示されます。



※セキュリティ情報の対象となるパラメータは機種やバージョンによって異なります。

指定したファイルにセキュリティ情報がある場合、インポートしたセキュリティ情報は全て隠し文字で表示されます。

[設定情報のエクスポート(E)...]

指定したファイルに設定情報を保存します。

[パラメータ設定] 画面のみで有効になります。

クリックすると、[エクスポート] 画面が表示されます。設定情報を保存するファイルを指定して [保存] をクリックすると、エクスポートが実行されます。

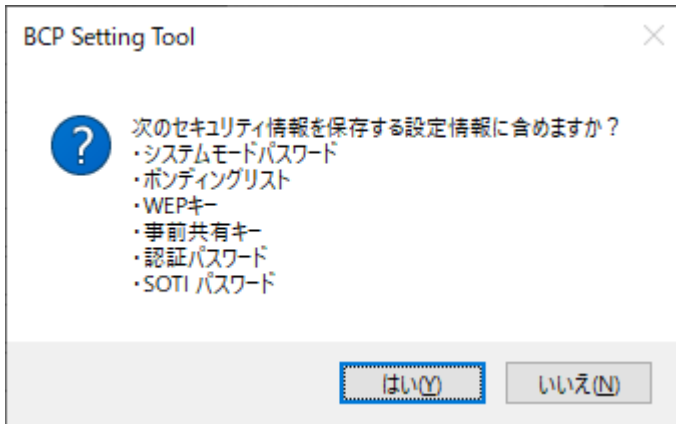
指定されたファイルに書き込みができない場合、エラーメッセージが表示されます。

現在の設定画面の状態が保存されます。

パラメータの設定値以外に各セクションのチェックボックスの設定も保存されます。

※パラメータの設定値が全桁スペースの場合、そのデータは保存されません。

保存する時に以下のメッセージが表示されます。



※セキュリティ情報の対象となるパラメータは機種やバージョンによって異なります。

セキュリティ情報を保存する場合、[はい] をクリックしてください。セキュリティ情報は重要な情報であるため、ファイルの保管には注意してください。

セキュリティに情報を保存しない場合、[いいえ] をクリックしてください。

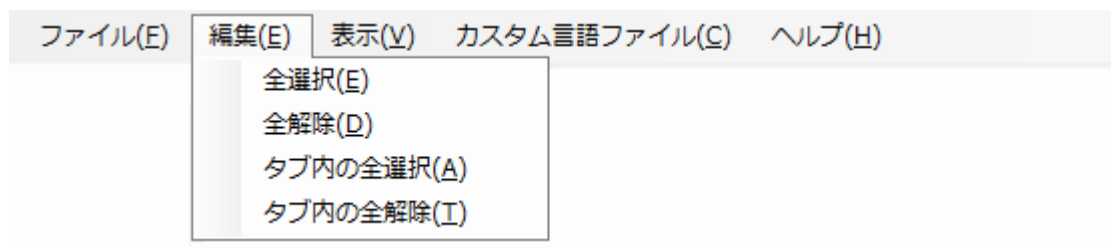
[終了(X)]

現在の設定を破棄して、本製品を終了します。

但し、[プリンタ設定] 画面と[環境設定] 画面の設定は変更時に保存されます。

次回の起動時に[プリンタ設定] 画面と[環境設定] 画面以外の画面は初期値で表示されます。

編集



[全選択(E)]

タブに関係なく、全てのグループのチェックボックスをチェック有りにします。

[パラメータ設定] 画面のみで有効になります。

[全解除(D)]

タブに関係なく、全てのグループのチェックボックスをチェック無しにします。

[パラメータ設定] 画面のみで有効になります。

[タブ内の全選択(A)]

タブ内の全てのグループのチェックボックスをチェック有りにします。

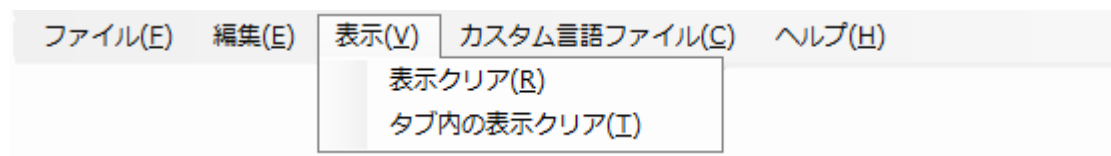
[パラメータ設定] 画面のみで有効になります。

[タブ内の全解除(T)]

タブ内の全てのグループのチェックボックスをチェック無しにします。

[パラメータ設定] 画面のみで有効になります。

表示



[表示クリア(R)]

全てのタブの設定値がデフォルト値に戻ります。

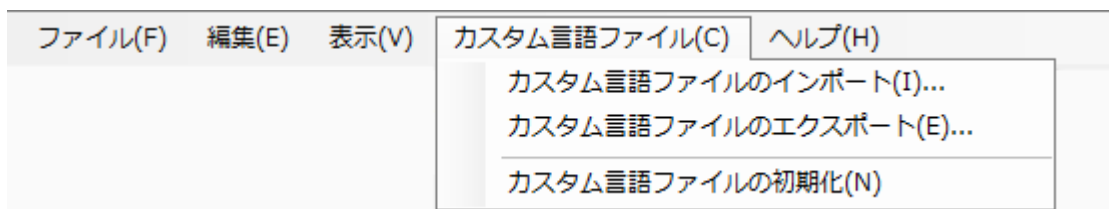
【パラメータ設定】画面のみで有効になります。

[タブ内の表示クリア(T)]

表示中の画面を起動時の状態に初期化します。

【パラメータ設定】画面を使用する場合、表示中のタブの設定値がデフォルト値に戻ります。

カスタム言語ファイル



[カスタム言語ファイルのインポート(I)]

指定したファイルからカスタム言語ファイルを読み込みます。

クリックすると、[インポート]画面が表示されます。ファイルの種類を [カスタム言語ファイル(*.CTM)] を選択すると、すべてのプリンタの定義、メッセージのカスタム言語ファイルがインポートされます。[ライセンスファイル(*.rtf)] を選択すると、Open Type Font ダウンロード時の使用許諾文のカスタム言語ファイルがインポートされます。

カスタム言語ファイルを指定して [開く] をクリックすると、インポートが実行されます。

指定されたファイルが設定情報ファイルではない場合、エラーメッセージが表示されます。

[カスタム言語ファイルのエクスポート(E)]

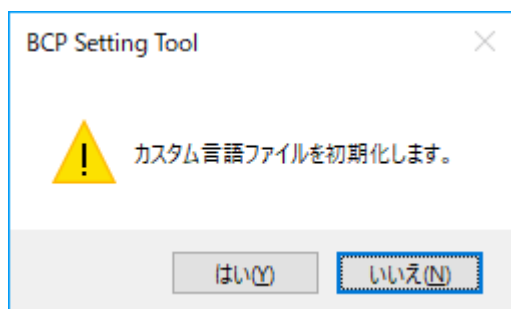
指定したファイルにカスタム言語ファイルを保存します。

クリックすると、[エクスポート]画面が表示されます。ファイルの種類を [カスタム言語ファイル(*.CTM)] を選択すると、すべてのプリンタの定義、メッセージのカスタム言語ファイルをエクスポートします。[ライセンスファイル(*.rtf)] を選択すると、Open Type Font ダウンロード時の使用許諾文のカスタム言語ファイルをエクスポートします。

指定されたファイルに書き込みができない場合、エラーメッセージが表示されます。

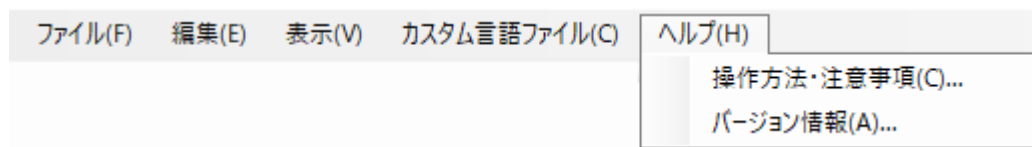
[カスタム言語ファイルの初期化(N)]

確認画面が表示されます。



[いいえ] をクリックすると、初期化を中止します。[はい] をクリックすると、すべてのプリンタの定義、メッセージ、Open Type Font の使用許諾文を英語に戻します。

ヘルプ



[操作方法・注意事項(C)...]

BV400 シリーズ詳細マニュアルを表示します。

[バージョン情報(A)...]

バージョン情報を表示します。

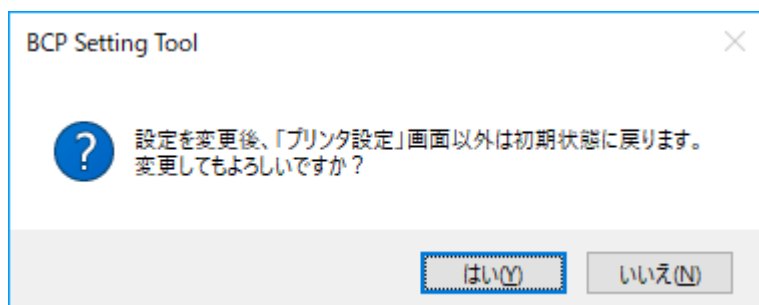
プリンタ

本製品で接続するプリンタのタイプとインターフェースの設定を行ないます。
「メニューアイコン」の「プリンタ」をクリックすると、表示されます。



「プリンタ」

接続するプリンタを選択します。
変更する場合、本製品の再起動が必要になります。
選択したプリンタと接続されたプリンタが異なる場合、正常に動作しません。
必ず接続するプリンタと同じプリンタを選択してください。
変更すると「プリンタ」画面以外は初期状態に戻ります。
変更時には以下の確認メッセージが表示されます。



「はい」をクリックすると、設定を保存後、本製品の再起動が実行されます。
「いいえ」をクリックすると、設定を保存しないで、「環境設定」画面に戻ります。

[インターフェース]

接続するインターフェースを選択します。

インストール直後のデフォルト値は、未選択になります。

変更した時点で設定値は保存され、ヘッダービューのインターフェースの表示に反映されます。

USB、Bluetooth、LAN、COM を選択すると、通信パラメータの設定が表示されます。

選択したインターフェースとその通信パラメータがプリンタへの通信で使用されます。

LAN は最大 50 台のプリンタが設定できます。

設定項目	USB、Bluetooth、LAN、COM
------	-----------------------

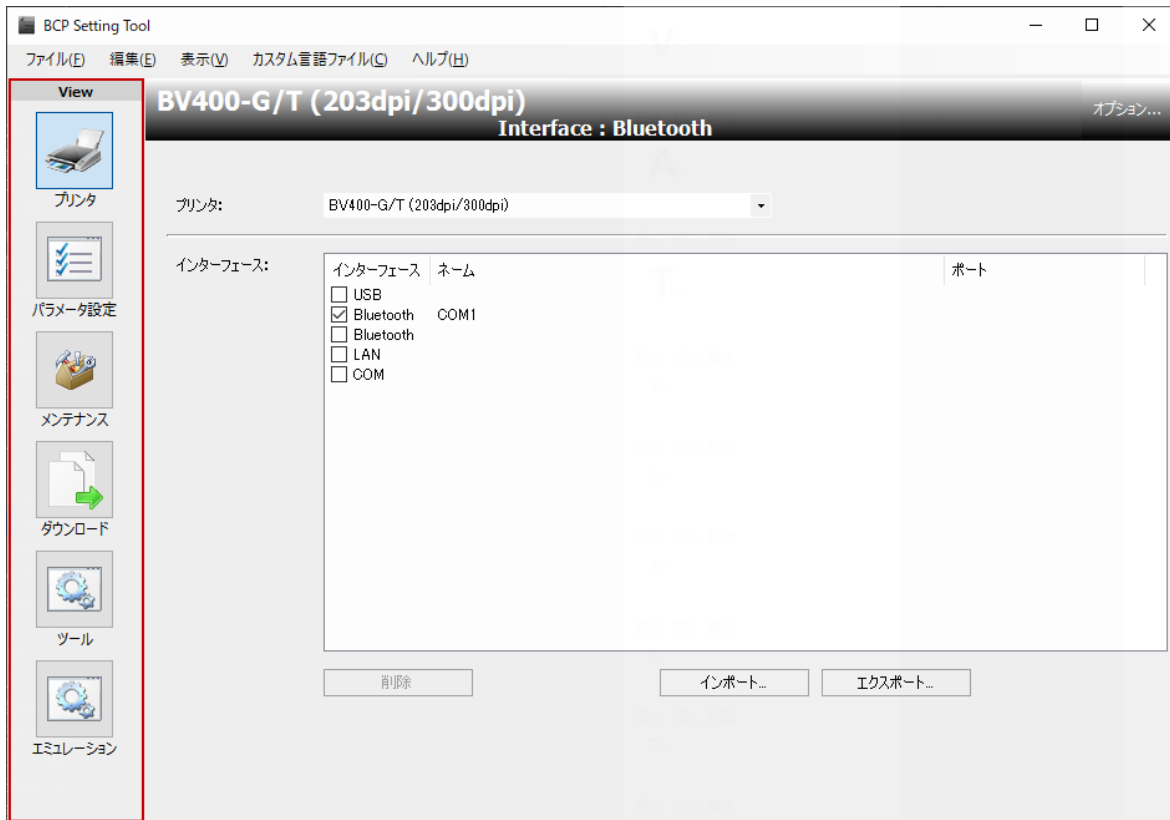
注意： COM を使用する場合、インストールされたプリンタドライバのポートを設定値以外のポートに指定してください。プリンタドライバのポートと同じインターフェースを設定した場合、正常に通信できないことがあります。

USB



PC 本体とプリンタを USB ケーブルで接続すると、自動で有効になります。

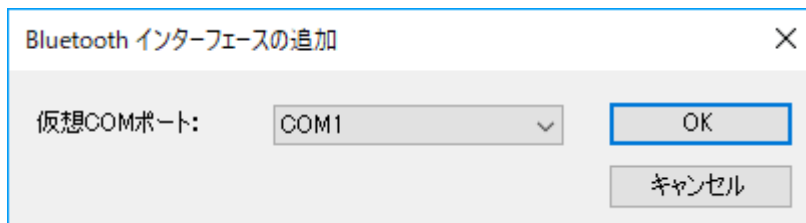
Bluetooth



[ネーム]

仮想 COM ポートを表示します。

Bluetooth チェックボックスをクリックすると Bluetooth インターフェースの追加ダイアログを表示します。



[OK] をクリックするとダイアログを閉じ、インターフェースリストに設定が反映されます。

[キャンセル] をクリックすると、処理をキャンセルします。

LAN



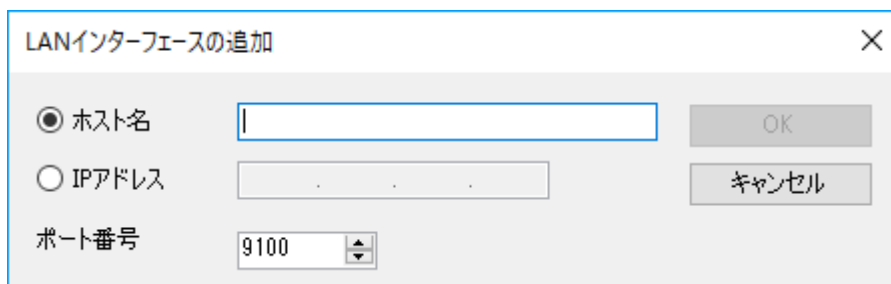
[ネーム]

接続するプリンタに設定されたホスト名または IP アドレスを表示します。

[ポート番号]

接続するプリンタに設定されたポート番号を表示します。

[LAN]チェックボックスを有効にすると、“LAN インターフェースの追加” ダイアログが表示されます。



[OK] をクリックするとダイアログを閉じ、インターフェースリストに設定が反映されます。

[キャンセル] をクリックすると、処理をキャンセルします。

[ホスト名]

接続するプリンタに設定されたホスト名を指定します。

最大 255 文字までの半角英数字を入力してください。

[IP アドレス]

接続するプリンタに設定された IP アドレスを指定します。

「X.X.X.X」の形式で入力してください。

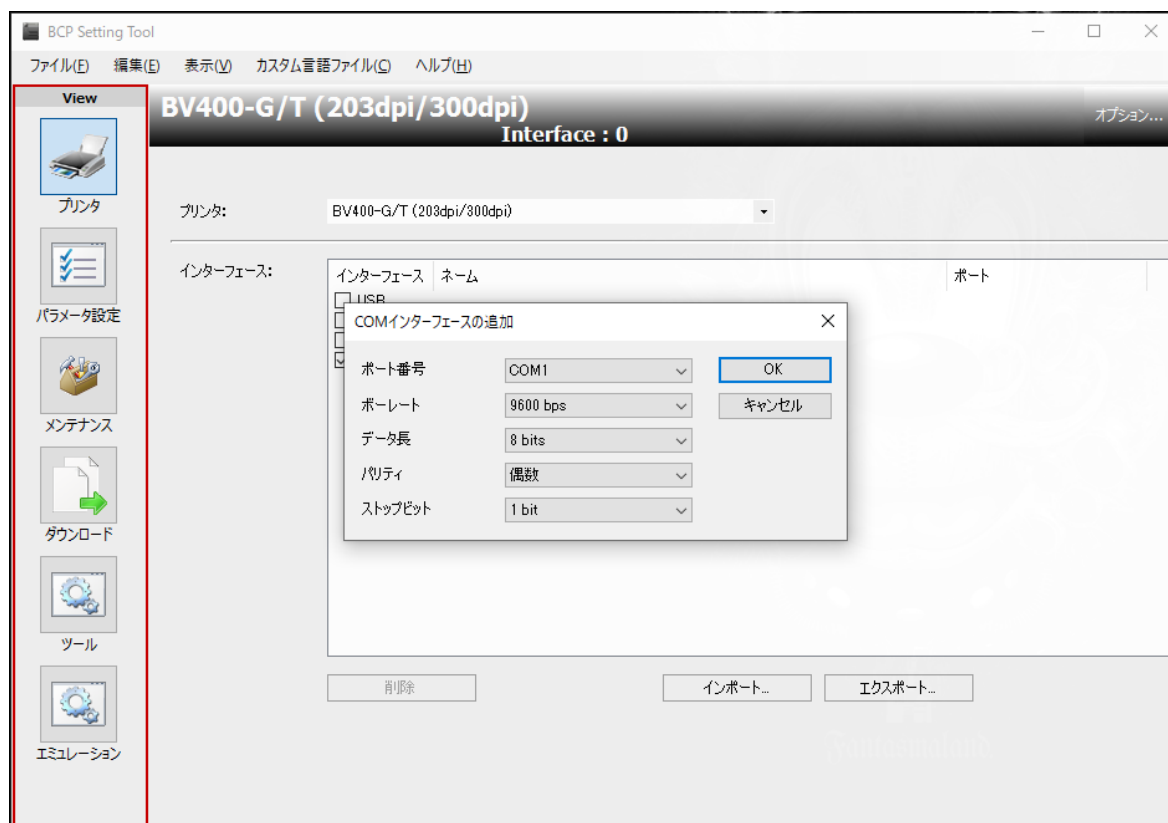
[ポート番号]

接続するプリンタに設定されたポート番号を指定します。
デフォルト値は、機種毎に異なります。

設定範囲	0～65535
------	---------

LAN インターフェースは 50 台を超える設定はサポート外となります。

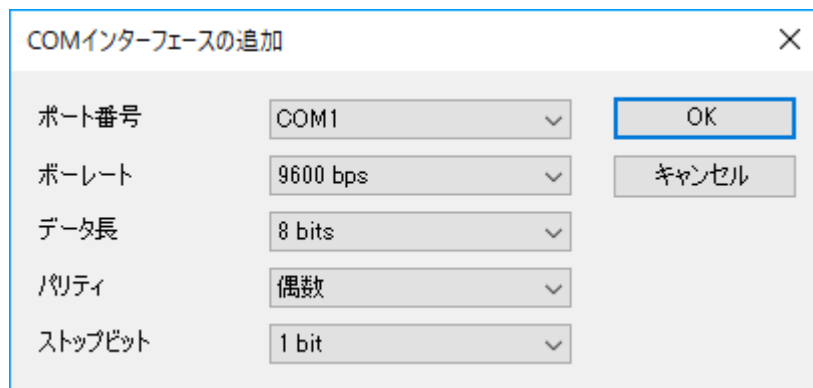
COM



[ネーム]

COM ポートの各パラメータを表示します。

COM チェックボックスをクリックすると COM インターフェースの追加ダイアログを表示します。



[OK] をクリックするとダイアログを閉じ、インターフェースリストに設定が反映されます。

[キャンセル] をクリックすると、処理をキャンセルします。

[ポート番号]

COM ポート番号を選択します。

設定項目	OS が認識している COM ポート
------	--------------------

[ボーレート]

接続するプリンタに設定された RS-232C ポートのボーレートを選択します。

設定項目	2400 bps、4800bps、9600 bps、19200 bps、38400 bps、115200 bps
------	--

[データ長]

接続するプリンタに設定された RS-232C ポートのデータ長を選択します。

設定項目	7 bits, 8 bits
------	----------------

[パリティ]

接続するプリンタに設定された RS-232C ポートのパリティを選択します。

設定項目	なし、偶数、奇数
------	----------

[ストップビット]

接続するプリンタに設定された RS-232C ポートのストップビットを選択します。

設定項目	1 bit, 2 bits
------	---------------

環境設定

本製品の動作条件の設定を行ないます。

ヘッダービューの一番横の「オプション...」ボタンをクリックすると、表示されます。

[インターフェース]

オプション

インターフェース オプション

☒ 複数選択(M) 最大同時通信(A): 10

☐ 起動時にパラメータを取得(G)

LAN

デフォルト・ドメイン名(D):

USB

☐ 再起動待ち合わせ時間(W): 5 秒

OK キャンセル

[複数選択(M)]

複数のインターフェースへ通信する場合、チェックを有効にします。

[最大同時通信(A)]

複数のインターフェースへ通信する場合、同時に通信可能な最大数を設定します。

[起動時にパラメータを取得(G)]

アプリケーション起動時にパラメータを取得します。

有効なインターフェースが接続されていない場合取得しません。

[デフォルト・ドメイン名(D)]

デフォルトドメイン名を指定します。

LAN インターフェース使用時、指定したホスト名と本設定を連結して接続します。

[再起動待ち合わせ時間(W)]

USB 通信でのプリンタが再起動する時の待ち合わせ時間を 1 ～ 1 0 0 秒の範囲で設定します。

通常は変更する必要はありません。

ダウンロード等で通信エラーが発生する場合に、待ち合わせ時間を延ばすと正常に完了する場合があります。

再起動待ち合わせ時間をチェックすると設定可能となります。

[オプション]

オプション

インターフェース オプション

言語(L): 日本語

制御コード(C): 自動

コード1(1): 1B

コード2(2): A

コード3(3): 0

パスワード設定(P)...

OK キャンセル

[言語(L)]

本製品を表示するときの言語を選択します。
インストール時に選択した言語の設定がデフォルト値になります。
変更する場合、本製品の再起動が必要になります。
再起動をすると、「プリンタ設定」と「オプション」以外の画面は初期値で表示されます。

設定項目	日本語、英語、中国語、カスタム
------	-----------------

[制御コード(C)]

接続するプリンタに設定された制御コードを選択します。
インストール直後のデフォルト値は、「自動」になります。
プリンタのデフォルト値と同じ設定になっているため、基本的に変更する必要はありません。
プリンタで設定された制御コードに適さない設定をした場合、正常に動作しなくなります。
ダウンロードを行う場合は、自動に設定してください。

設定項目	自動、[ESC] [LF] [NUL]、{ }、手動、IBM HOST、IBM HOST US
------	---

[コード 1(1)]

接続するプリンタに設定されたコード 1 を HEX 形式で入力します。
インストール直後のデフォルト値は、「1B」になります。
[制御コード] で「手動」を設定した場合のみ有効になります。

プリンタで制御コードに「手動」を使用している場合、変更してください。

設定範囲	00～FF
------	-------

[コード 2(2)]

接続するプリンタに設定されたコード 2 を HEX 形式で入力します。
インストール直後のデフォルト値は、「0A」になります。
[制御コード] で「手動」を設定した場合のみ有効になります。
プリンタで制御コードに「手動」を使用している場合、変更してください。

設定範囲	00～FF
------	-------

[コード 3(3)]

接続するプリンタに設定されたコード 3 を HEX 形式で入力します。

インストール直後のデフォルト値は、「00」になります。

〔制御コード〕で「手動」を設定した場合のみ有効になります。

プリンタで制御コードに「手動」を使用している場合、変更してください。

設定範囲	00～FF
------	-------

[パスワード設定(P)...]

本製品にログインするためのパスワードを設定します。

インストール直後はパスワードが設定されていません。

本製品の使用を制限する場合、パスワードの設定を行なってください。

クリックすると、〔パスワード変更〕画面が表示されます。

パスワードが設定されると起動時に〔ログイン〕画面でパスワードが必要になります。

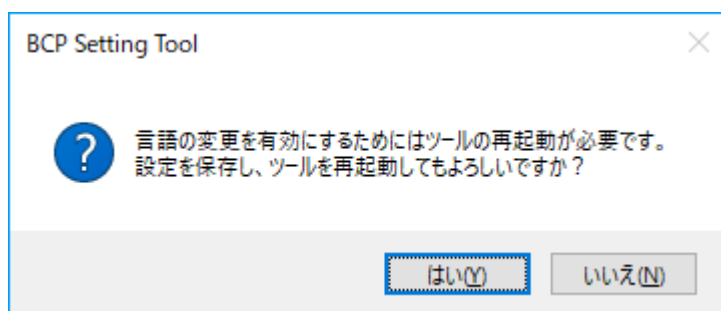
パスワードは最大 16 桁までの半角英数字が使用できます。

大文字と小文字の区別はされます。

[OK]

クリックすると、画面内の設定を保存して、〔オプション〕画面を終了します。

〔言語〕を変更した場合のみ、以下の確認メッセージが表示されます。



〔はい〕をクリックすると、設定を保存後、本製品の再起動が実行されます。

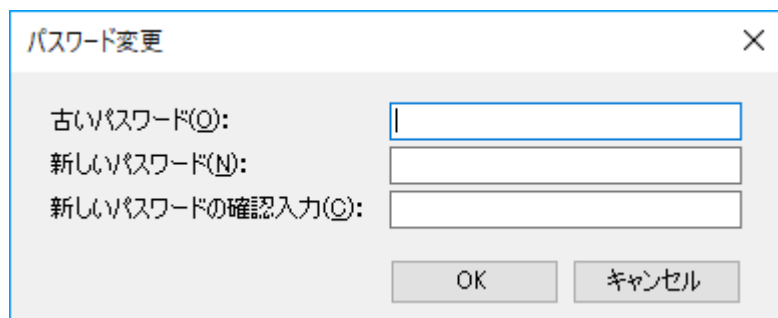
〔いいえ〕をクリックすると、設定を保存しないで、〔オプション〕画面に戻ります。

[キャンセル]

クリックすると、現在の設定を破棄して、〔オプション〕画面を終了します。

〔パスワード変更〕画面で保存されたパスワードは破棄されません。

パスワード変更



パスワード変更

古いパスワード(O):

新しいパスワード(N):

新しいパスワードの確認入力(C):

OK キャンセル

[古いパスワード(O)]

既にパスワードが設定されている場合、現在のパスワードを入力してください。
インストール後に初めて設定するときは、入力する必要はありません。
入力された文字は隠し文字で表示されます。

[新しいパスワード(N)]

新しく設定するパスワードを入力してください。
パスワードの設定を無効にする場合、入力する必要はありません。
入力された文字は隠し文字で表示されます。

[新しいパスワードの確認入力(C)]

確認のために新しく設定するパスワードを入力してください。
パスワードの設定を無効にする場合、入力する必要はありません。
入力された文字は隠し文字で表示されます。

[OK]

クリックすると、新しいパスワードを保存して、[パスワード変更] 画面を終了します。
[オプション] 画面のキャンセルは、パスワードの保存に影響しません。
[古いパスワード] が間違っている、または、[新しいパスワード] と [新しいパスワードの確認入力] が一致しない場合、エラーメッセージが表示されます。
[古いパスワード] のみを入力した場合、パスワードが無効になります。

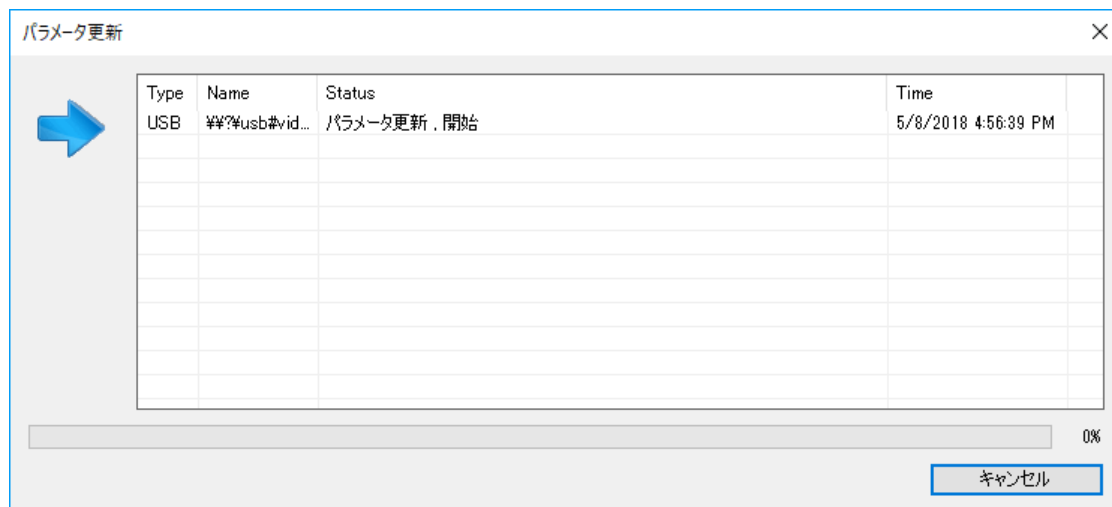
[キャンセル]

クリックすると、現在の設定を破棄して、[パスワード変更] 画面を終了します。

処理画面

プリンタに通信する処理が実行された場合、表示されます。
処理中は進行画面が表示され、完了時は完了画面が表示されます。

進行画面



タイトル

現在の実行されている処理が表示されます。

進行状況

現在の状況がアイコンとテキストとプログレスバーに随時更新されます。

処理中の場合、処理中のアイコンが表示されます。

エラーが発生した場合、処理が中断されます。

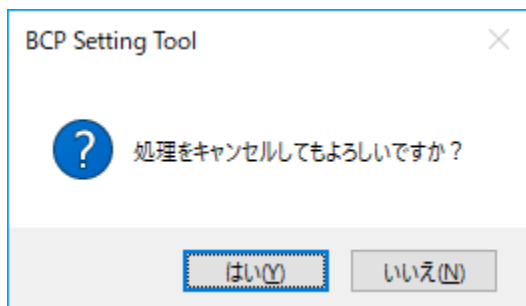
但し、エラーが発生するまでに完了した処理は有効になります。

インターフェースが設定されている場合、各プリンタの状況に関わらず、全てのプリンタに処理を実行します。

[キャンセル(C)...]

処理を中断します。

クリックすると、以下の確認メッセージが表示されます。

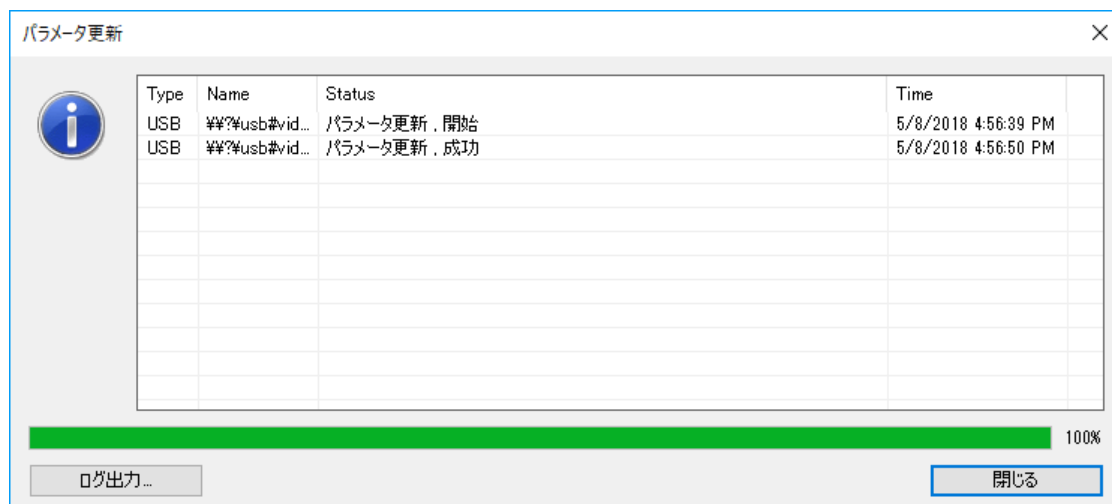


「はい」をクリックすると、中断が実行されます。但し、中断されるまでに完了した処理は有効になります。

「いいえ」をクリックすると、中断をキャンセルします。

確認メッセージを表示している間も継続して処理されます。

完了画面



タイトル

現在の実行された処理が表示されます。進捗状況画面のタイトル表示がそのまま引き継がれます。

進行状況

プログレスバーは 100% になり、最終結果がテキストに表示されます。

正常終了した場合、正常終了のアイコンが表示されます。

エラーにより正常終了しなかった場合、異常終了のアイコンが表示されます。

キャンセルした場合、キャンセル終了のアイコンが表示されます。

[ログ出力(L)...]

指定したファイルに進捗状況のテキストに表示された結果が CSV 形式で保存されます。

クリックすると、ファイルの選択画面が表示されます。ログデータを保存するファイルを指定して [保存] をクリックすると、保存が実行されます。

指定されたファイルは初期化され、ログデータが保存されます。

指定されたファイルに書き込みができない場合、エラーメッセージが表示されます。

[リトライ(R)]

正常終了しなかったプリンタに同じ処理を再試行します。

クリックすると、再試行が開始されます。

正常終了しなかった場合のみ表示されます。

[閉じる(C)]

クリックすると、完了画面を終了します。

進行状況

進行状況のテキストの表示で現在の実行中の処理状況が随時追加されます。

進行状況フォーマット：

["デバイス名"] "処理" "プロセス" "詳細状況" ("エラーコード")

処理

現在実行されている処理を表示します。

処理	説明
パラメータ取得	[パラメータ設定] 画面でパラメータの設定値の取得を実行
パラメータ更新	[パラメータ設定] 画面でパラメータの設定値の更新を実行
ファームウェアダウンロード	[ダウンロード] 画面の [ファームウェア] タブでダウンロードを実行
BASIC ダウンロード	[ダウンロード] 画面の [BASIC] タブでダウンロードを実行
プリンタ情報取得	[メンテナンス] 画面の [情報] タブでプリンタ情報の取得を実行
プリンタ情報保存	[メンテナンス] 画面の [情報] タブでプリンタ情報の保存を実行
プリンタリセット	[メンテナンス] 画面の [設定] タブでプリンタのリセットを実行
ヘッド断線チェック	[メンテナンス] 画面の [設定] タブでヘッド断線チェックを実行
ログ採取	[メンテナンス] 画面の [設定] タブでログ採取を実行
メンテナンスカウンタクリア	[メンテナンス] 画面の [設定] タブでメンテナンスカウンタのクリアを実行
パラメータクリア	[メンテナンス] 画面の [設定] タブでパラメータクリアを実行
メモリアロケート	[メンテナンス] 画面の [設定] タブでアロケートを実行
メモリフォーマット	[メンテナンス] 画面の [設定] タブでフォーマットを実行
ファイル送信	[ツール] 画面の [ツール] タブでファイル送信を実行
テスト印字	[ツール] 画面の [テスト印字] タブでテスト印字を実行

プロセス

現在実行されているプロセスを表示します。

プロセス	説明
開始	処理を開始
成功	処理が終了
終了	
失敗	処理が異常終了
キャンセル	処理をキャンセル終了
プリンタ準備中...	ダウンロードの準備中
プリンタ更新中...	新しいファームウェアの更新中 各種パラメータに設定された値の更新中
"セクション名"ファームウェア 書き込み中...	ファームウェアダウンロード処理で ROM ファイルを送信中
メモリアロケート	BASIC ダウンロード処理でメモリをアロケート中
メインプログラム更新中...	BASIC ダウンロード処理でメインプログラムを送信および更新中
システムモードプログラム更新中...	BASIC ダウンロード処理でシステムモードプログラムの送信および更新中
データファイル更新中...	BASIC ダウンロード処理でデータファイルの送信および更新中
非サポート	パラメータ取得／更新でプリンタからの応答がタイムアウトとなった

詳細状況

終了した時の詳細状況を表示します。

メッセージ	説明
プリンタの接続が確認できません	指定されたインターフェースで接続可能なプリンタが確認できませんでした。 通信条件を確認後、再度操作をやり直してください。同じメッセージが出る場合、プリンタを再起動してください。
オンラインモードを確認できません	プリンタがオンラインモードになっていることを確認できないため、処理を実行できませんでした。 通信条件を確認後、再度操作をやり直してください。同じメッセージが出る場合、プリンタを再起動してください。
プリンタがアイドル状態ではありません	プリンタでエラーが発生しているため、処理を実行できませんでした。 プリンタのエラーを解除後、再度操作をやり直してください。
プリンタでエラー(“ステータスコード”)が発生しました	処理中にプリンタでエラーが発生しました。 プリンタのエラーを解除後、再度操作をやり直してください。
ヘッドが断線しています	ヘッド断線チェックを実行した結果、プリンタのヘッドに断線が見つかりました。
ファイルの書き込みに失敗しました	プリンタ情報採取、ログ採取で採取したデータが指定されたファイルに書込めませんでした。 ファイルが書込み可能な状態かを確認してください。
取得エラー(“タブ名”/“グループ名”)	プリンタから設定情報を取得できませんでした。 『“タブ名”/“グループ名”』はエラーが発生した場所を示します。 再度操作をやり直してください。同じメッセージが出る場合、プリンタを再起動してください。
更新エラー(“タブ名”/“グループ名”/“コントロール名”)	設定情報がプリンタで更新できませんでした。 『“タブ名”/“グループ名”/“設定項目名”』はエラーが発生した場所を示します。 設定値を確認後、再度操作をやり直してください。同じメッセージが出る場合、プリンタを再起動してください。 尚、設定する機能がプリンタファームバージョンにより組み込まれていない場合も“更新エラー”が発生します。
処理エラー	ファームウェアダウンロードでバージョンが更新できませんでした。 メンテナンスカウンタクリアでカウンタがクリアできませんでした。 パラメータクリアで初期化できませんでした。 再度操作をやり直してください。同じメッセージが出る場合、プリンタを再起動してください。
プリンタの準備ができていません	実行しようとした処理に対応するモードではありません。 各処理に対応したモードは「 2.起動 プリンタ側 」を参照してください。
タイムアウトエラー	プリンタからの受信処理がタイムアウトになりました。 再度操作をやり直してください。同じメッセージが出る場合、プリンタを再起動してください。
通信エラー	指定されたインターフェースでの通信処理に異常が発生しました。 通信条件を確認後、再度操作をやり直してください。同じメッセージが出る場合、プリンタを再起動してください。

4 機能

パラメータ設定

プリンタの各種パラメータの設定、取得を行ないます。
「メニューアイコン」の「パラメータ設定」をクリックすると、表示されます。
プリンタが"TPCL"モードの状態で行ってください。



コントロール

プリンタの各種パラメータの値を確認、更新するために、種類や用途により、タブとグループに区分けられて配置されます。

それぞれのコントロールは、属しているグループのチェックボックスがチェック有りの場合、アクティブ表示になります。

アクティブ表示のコントロールは、選択や入力により値の変更が可能です。

プリンタからの取得は、全てのコントロールに対して実行されます。

プリンタへの更新は、アクティブ表示のコントロールに対して実行されます。

グループ

それぞれのコントロールは、[イメージ]、[通知]、[コマンド]等の種類によってグループ化されます。グループのチェックボックスをチェック有りにすると、グループ内のコントロールがアクティブ表示になります。

プリンタからの取得は、チェックの有無に関係なく全てのコントロールに対して実行されます。

プリンタへの更新は、チェック有りにしたグループのコントロールに対して実行されます。

タブ

それぞれのグループは、[一般]、[オプション]、[デバイス]のタブに区分けられます。

タブをクリックすると、それぞれに関連するパラメータを設定する画面が表示されます。

プリンタからの取得は、全てのタブのコントロールに対して一括で実行されます。

プリンタへの更新は、各タブ内の有効になったコントロールに対して実行されます。

[更新...]

プリンタのパラメータの設定値を変更します。

設定値を変更するグループが無い場合、無効になります。

画面の設定が間違っていた場合、エラーメッセージが表示されます。

処理を開始すると進行状況画面が表示され、完了すると完了画面が表示されます。

プリンタがシステムモードの場合に実行されます。

全てのタブのアクティブ表示のコントロールの設定値をプリンタに送信し、プリンタから送信後の値を取得し、更新が成功したかどうかを確認します。

[取得]

プリンタからパラメータの設定値を取得し、表示を更新します。

クリックすると、処理が開始されます。

処理を開始すると進行状況画面が表示され、完了すると完了画面が表示されます。

プリンタがシステムモードの場合に実行されます。

取得した設定値は「パラメータ設定」画面の各コントロールに反映されます。

全てのタブの全てのコントロールに対して現在の設定値をプリンタから取得します。

但し、一部取得できないコントロールがあります。（ボンディング情報）

一般タブ

一般	一般 (2)	一般 (3)	デバイス	LAN	無線LAN	無線LAN(2)	RFID	SOTI
<div> <input type="checkbox"/> イメージ <div> 文字コード: PC-850 “0”字体: スラッシュ無し EUROフォントコード: B0 MaxiCode仕様: TYPE 1: 互換仕様 漢字特殊コード: TYPE 1: Windows </div> </div> <div> <input type="checkbox"/> サプライ <div> 印加制御(熱転写): 標準 印加制御(直接感熱): 標準 リボンニアンド: 無効 リボン紙管内径: 12.7mm(0.5inch) 用紙/リボン終了: 即時停止 </div> </div> <div> <input type="checkbox"/> 発行制御設定 <div> センサー: コマンド優先 モード: コマンド優先 印字速度: コマンド優先 リボン: コマンド優先 印字方向: コマンド優先 自動ステータス: コマンド優先 </div> </div> <div> <input type="checkbox"/> 表示 <div> LCD表示言語: 日本語 コントラスト調整: 40 機種名: 表示 印刷枚数: 表示 IPアドレス: 表示 走行距離警告: 3200 km 総走行距離警告: 3200 km </div> <div> <input type="checkbox"/> 動作 <div> 頭だし: 無効 自動正転待機: する 自動正転待機位置: 0.0 mm 待機動作: MODE 1 バックフィード速度: 3 ips カットモード: 標準動作 ラベル複数枚取り設定: 無効 エラー後の再印刷: 有効 カット後のバックフィード: コマンド優先 高信頼性モード: 0 </div> </div> </div>								

【イメージ】グループ

[文字コード]

プリンタフォントに適用する文字コード表を設定します。

デフォルト値	PC-850
設定項目	PC-850、PC-8、PC-852、PC-857、PC-851、PC-855、PC-1250、PC-1251、PC-1252、PC-1253、PC-1254、PC-1257、LATIN9、Arabic、PC-866、UTF-8

[“0”字体]

プリンタフォントのキャラクタ“0”にスラッシュを付けるか否かを設定します。

但し、以下のフォントは設定に関係なくスラッシュ無しになります。

<ビットマップフォント> OCR-A、OCR-B、ゴシック 725 ブラック、漢字、中国語

<アウトラインフォント> 価格フォント1、価格フォント2、価格フォント3、Dutch 801、Brush 738、Gothic 725、True Type フォント

デフォルト値	スラッシュ無し
設定項目	スラッシュ無し、スラッシュ有り

[EURO フォントコード]

プリンタフォントで EURO フォントに割り当てる文字を HEX 形式で設定します。

入力は 2 文字固定の“0”から“F”の半角文字で行なってください。

大文字と小文字の区別はありません。

2 文字で 1 文字の HEX を表します。(例：“0”→“30”、“A”→“41”)

デフォルト値	B0
設定範囲	20～FF

[MaxiCode 仕様]

バーコードフォントの MaxiCode を作成する種別を設定します。

デフォルト値	TYPE 1: 互換仕様
設定項目	TYPE 1: 互換仕様、TYPE 2: 特殊仕様

[漢字特殊コード]

漢字フォントのコードの仕様を設定します。

デフォルト値	TYPE 1: Windows
設定項目	TYPE 1: Windows、TYPE 2: オリジナル

【サプライ】グループ

[印加制御（熱転写）]

リボン発行時に使用する熱制御を設定します。

デフォルト値	標準
設定項目	標準、予約 1、予約 2、予約 3、予約 4、予約 5、予約 6、予約 7、予約 8、予約 9

[印加制御（直接感熱）]

感熱発行時に使用する熱制御を設定します。

デフォルト値	標準
設定項目	標準、予約 1、予約 2、予約 3、予約 4、予約 5、予約 6、予約 7、予約 8、予約 9

[リボンニアエンド]

リボンニアエンドを検出する条件を設定します。

デフォルト値	無効
設定項目	無効、30 m

[リボン紙管内径]

リボン紙管の内径を設定します。

デフォルト値	12.7mm(0.5inch)
設定項目	12.7mm(0.5inch)、25.4mm(1.0inch)

[用紙／リボン終了]

用紙、または、リボンの終了検出時の停止動作を設定します。

デフォルト値	即時停止
設定項目	即時停止、印字後停止

【発行制御設定】グループ

[センサー]

印刷時のセンサー種別を設定します。

デフォルト値	コマンド優先
設定項目	コマンド優先、無、反射、透過、透過（手動 1）、透過（手動 2）、透過（手動 3）、透過（手動 4）、透過（手動 5）、反射（手動 1）、反射（手動 2）、反射（手動 3）、反射（手動 4）、反射（手動 5）

[モード]

動作モードを設定します。

デフォルト値	コマンド優先
設定項目	コマンド優先、連続、カット、剥離、パーシャルカット、ライナレスカット

[印字速度]

印字速度を設定します。

デフォルト値	コマンド優先
設定項目	コマンド優先、2 ips (G/T)、3 ips (G/T)、4 ips (G/T)、5 ips (G/T)、6 ips (G)、7 ips (G)

[リボン]

リボンの有無を設定します。

デフォルト値	コマンド優先
設定項目	コマンド優先、無、有

[印字方向]

印字方向を設定します。

デフォルト値	コマンド優先
設定項目	コマンド優先、尻出、頭出、尻出（ミラー）、頭出（ミラー）

[自動ステータス]

自動ステータスを設定します。

デフォルト値	コマンド優先
設定項目	コマンド優先、送信無し、送信有り

【表示】グループ

[LCD 表示言語]

LCD に表示するメッセージの言語を設定します。

デフォルト値	日本語
設定項目	英語、ドイツ語、フランス語、オランダ語、スペイン語、日本語、イタリア語、ポルトガル語、中国語（簡体字）、韓国語、トルコ語、ポーランド語、チェコ語

[コントラスト調整]

LCD に表示するときの濃度を偶数値で設定します。

奇数値が設定された場合、偶数値に補正されます。

デフォルト値	40
設定範囲	24～50

[機種名]

LCD に機種名を表示するか否かを設定します。

デフォルト値	表示
設定項目	非表示、表示

[印刷枚数]

LCD に印刷枚数を表示するか否かを設定します。

デフォルト値	表示
設定項目	非表示、表示

[IP アドレス]

LCD に IP アドレスを表示するか否かを設定します。

デフォルト値	表示
設定項目	非表示、表示

[走行距離警告]

ラベル走行距離の警告距離を設定します。

デフォルト値	3200 km
設定範囲	1～3200 km

[総走行距離警告]

総ラベル走行距離の警告距離を設定します。

デフォルト値	3200 km
設定範囲	1～3200 km

【動作】グループ

[頭だし]

頭だし機能を有効にするか否かを設定します。

デフォルト値	無効
設定項目	無効、標準、節約

[自動正転待機]

発行後に自動正転を待機するか否かを設定します。

“する”に設定した場合、発行後 1 秒以上アイドル状態が続くと自動的に正転します。

デフォルト値	する
設定項目	しない、する

[自動正転待機位置]

[自動正転待機] を“する”に設定した場合の自動的に正転する距離に対する調整値を 0.1mm単位で設定します。

デフォルト値	0.0 mm
設定範囲	-5.0～5.0 mm

[待機動作]

[自動正転待機] を“する”に設定した場合に使用される待機動作を設定します。

“MODE 1” 固定です。“MODE 2” を設定しても、“MODE 1” が取得されます。

デフォルト値	MODE 1
設定項目	MODE 1、MODE 2

[バックフィード速度]

バックフィード動作時の搬送速度を設定します。

デフォルト値	3 ips
設定項目	2 ips、3 ips

[カットモード]

カットモードを設定します。

デフォルト値	標準動作
設定項目	標準動作、従来動作

[ラベル複数枚取り設定]

ラベル複数枚取り機能を有効にするか否かを設定します。

デフォルト値	無効
設定項目	無効、有効

[エラー後の再印刷]

印刷途中でエラーが発生したときの、リスタート機能の動作を設定します。

デフォルト値	有効
設定項目	有効、無効、ジョブキャンセル

[カット後のバックフィード]

カット後のバックフィード動作を設定します。ライナレスカッター装着時は、本設定は適用されません。

デフォルト値	コマンド優先
設定項目	コマンド優先、有効、無効

[高信頼性モード]

リボン皺低減動作（正転/逆転）を行う発行間隔を設定します。0 の場合は無効となり、リボン皺低減動作は行いません。

デフォルト値	0
設定範囲	0～100

一般 (2)タブ

一般

一般 (2)

一般 (3)

デバイス

LAN

無線LAN

無線LAN(2)

RFID

SOTI

制御

FEEDキー: フィード

自動断線チェック: 無効

自動用紙測定: 無効

省電力移行時間: 15 分

位置調整

フィード量: 0.0 0.0 mm

カット又は剥離位置: 0.0 0.0 mm

バックフィード量: 0.0 0.0 mm

X方向微調方法: TYPE 1

X方向: 0.0 mm

濃度調整

熱転写: 0 0

直接感熱: 0 0

センサー調整

反射センサー微調1: 1.0 V

反射センサー微調2: 1.0 V

反射センサー微調3: 1.0 V

反射センサー微調4: 1.0 V

反射センサー微調5: 1.0 V

透過センサー微調1: 1.4 V

透過センサー微調2: 1.4 V

透過センサー微調3: 1.4 V

透過センサー微調4: 1.4 V

透過センサー微調5: 1.4 V

剥離

剥離待ちステータス: 無効

プレ記録処理: しない

簡易レシートモード

簡易レシートモード: 無効

ボトムマージン: 2 mm

【制御】グループ

[FEED キー]

[FEED] キーを押した場合の動作を設定します。

デフォルト値	フィード
設定項目	フィード、再印刷

[自動断線チェック]

電源投入時に自動で断線チェックを行なうか否かを選択します。

デフォルト値	無効
設定項目	無効、有効

[自動用紙測定]

オートキャリブレーション動作による用紙の検出を有効にするか否かを設定します。

デフォルト値	無効
設定項目	無効、透過センサー、反射センサー、両センサー、

[省電力移行時間]

プリンタが未使用時、省電力モードに移行するまでの時間を設定します。

デフォルト値	15 分
設定範囲	1～60 分

【位置調整】グループ

〔フィード量〕

停止位置に対する微調整を 0.1mm 単位で設定します。

マイナス値の場合、ゼロ位置に対して手前で停止します。

PC の値が左側のボックスに表示されます。

取得をしない場合、印字位置微調コマンド [AX] で設定した PC の値は 0 になります。

デフォルト値	0.0 mm
設定範囲	-50.0～50.0 mm

〔カット又は剥離位置〕

カット（又は剥離位置）に対する微調整を 0.1mm 単位で設定します。

マイナス値の場合、ゼロ位置に対して手前でカット（剥離）します。

PC の値が左側のボックスに表示されます。

取得をしない場合、印字位置微調コマンド [AX] で設定した PC の値は 0 になります。

デフォルト値	0.0 mm
設定範囲	-50.0～50.0 mm

〔バックフィード量〕

バックフィード量に対する微調整を 0.1mm 単位で設定します。

マイナス値の場合、用紙を戻す方向のフィード量が減ります。

PC の値が左側のボックスに表示されます。

取得をしない場合、印字位置微調コマンド [AX] で設定した PC の値は 0 になります。

デフォルト値	0.0 mm
設定範囲	-9.9～9.9 mm

〔X 方向微調方法〕

X 方向微調方法を設定します。

デフォルト値	TYPE 1
設定項目	TYPE 1、TYPE 2

〔X 方向〕

用紙送りと垂直方向の印字位置に対する微調整を 0.1mm 単位で設定します。

デフォルト値	0.0 mm
設定範囲	-99.9～99.9 mm

【濃度調整】グループ

〔熱転写〕

リボン発行時の印字濃度に対する微調整を設定します。

PC の値が左側のボックスに表示されます。

取得をしない場合、印字濃度微調コマンド [AY] で設定した PC の値は 0 になります。

デフォルト値	0
設定範囲	-10～10

〔直接感熱〕

感熱発行時の印字濃度に対する微調整を設定します。

PC の値が左側のボックスに表示されます。

取得をしない場合、印字濃度微調コマンド [AY] で設定した PC の値は 0 になります。

デフォルト値	0
設定範囲	-10～10

【センサー調整】グループ

〔反射センサー微調 1～5〕

反射センサーの出力に対するしきい値の微調整を 0.1V 単位で設定します。

デフォルト値	1.0 V
設定範囲	0.1～4.0 V

〔透過センサー微調 1～5〕

透過センサーの出力に対するしきい値の微調整を 0.1V 単位で設定します。

デフォルト値	1.4 V
設定範囲	0.1～4.0 V

【剥離】グループ

〔剥離待ちステータス〕

剥離発行時に剥離待ちステータスを返すか否かを設定します。

デフォルト値	無効
設定項目	無効、有効

〔プレ剥離処理〕

剥離発行時にプレ剥離動作をするか否かを設定します。

デフォルト値	しない
設定項目	しない、する

【簡易レシートモード】グループ

〔簡易レシートモード〕

簡易レシートモードの有効/無効を設定します。

デフォルト値	無効
設定項目	無効、有効

〔ボトムマージン〕

簡易レシートモード時の余白量を調整します。

デフォルト値	2 mm
設定範囲	2～99 mm

一般 (3)タブ

一般 一般 (2) 一般 (3) デバイス LAN 無線LAN 無線LAN(2) RFID SOTI

☐ コマンド

制御コード: 自動

コード1: 1B

コード2: A

コード3: 0

☐ パスワード

システムモードパスワード: 無効

新パスワード: 0000

旧パスワード: 0000

☐ XML

XML: 標準

☐ BASIC

インテグリティ: 無効

トレース: 無効

☐ 製品

プリンタシリアル番号:

【コマンド】グループ

【制御コード】

コマンドの解析に使用する制御コードを設定します。

デフォルト値	自動
設定項目	自動、[ESC] [LF] [NUL]、{ }、手動、IBM HOST、IBM HOST US

【コード 1】

【制御コード】を“手動”に設定した場合、1 バイト目に使用するコードを HEX 形式で設定します。
入力は 2 文字固定の“0”から“F”の半角文字で行なってください。

大文字と小文字の区別はありません。

2 文字で 1 文字の HEX を表します。（例：“0”→“30”、“A”→“41”）

デフォルト値	1B
設定範囲	00～FF

【コード 2】

【制御コード】を“手動”に設定した場合、2 バイト目に使用するコードを HEX 形式で設定します。
入力は 2 文字固定の“0”から“F”の半角文字で行なってください。

大文字と小文字の区別はありません。

2 文字で 1 文字の HEX を表します。（例：“0”→“30”、“A”→“41”）

デフォルト値	0A
設定範囲	00～FF

【コード 3】

【制御コード】を“手動”に設定した場合、3 バイト目に使用するコードを HEX 形式で設定します。
入力は 2 文字固定の“0”から“F”の半角文字で行なってください。

大文字と小文字の区別はありません。

2 文字で 1 文字の HEX を表します。（例：“0”→“30”、“A”→“41”）

デフォルト値	00
設定範囲	00～FF

【XML】グループ

[XML]

XML を有効にするか否かを設定します。

デフォルト値	標準
設定項目	無効、標準、Oracle、SAP

【BASIC】グループ

[インタプリタ]

ベーシックインタプリタを使用可能にするか否かを設定します。

デフォルト値	無効
設定項目	無効、有効

[トレース]

ベーシックトレースを使用可能にするか否かを設定します。

デフォルト値	無効
設定項目	無効、有効

【製品】グループ

[プリンタシリアル番号]

プリンタ固有の番号が表示されます。

この設定は変更できません。

【パスワード】グループ

[システムモードパスワード]

システムモードに入るときのパスワードを有効にするか否かを選択します。

デフォルト値	無効
設定項目	無効、有効

[新パスワード]

システムモードに入るときのパスワードを設定します。

設定する場合には旧パスワードが必要です。

旧パスワードの指定が間違っている場合、変更できません。

システムモードパスワードが有効の場合のみ、有効になります。

入力は4文字固定の“0”から“F”の半角文字で行なってください。

大文字と小文字の区別はありません。

セキュリティ情報であるため、入力時以外は隠し文字で表示されます。

デフォルト値	0000
設定範囲	0000～FFFF

[旧パスワード]

システムモードに入るときのパスワードを解除するために設定します。

現在プリンタに設定されたパスワードを設定します。

入力は4文字固定の“0”から“F”の半角文字で行なってください。

大文字と小文字の区別はありません。

セキュリティ情報であるため、入力時以外は隠し文字で表示されます。

新パスワードを有効にする場合、“0000”を設定してください。

デフォルト値	0000
設定範囲	0000～FFFF

デバイスタブ

No.	BDアドレス	PINコード
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

【Bluetooth】グループ

[Bluetooth I/F]

Bluetooth 通信を使用可能にするか否かを設定します。

デフォルト値	有効
設定項目	無効、有効

[デバイスニックネーム]

Bluetooth デバイスにニックネームを設定します。

他のデバイスから検出した場合に使用される名称です。

入力は最大 32 文字の半角英数字、スペースで行ってください。

デフォルト値	TOSHIBA TEC BT
--------	----------------

[インクワイリー応答]

ホストからの探索に対して応答するか否かを設定します。

60 秒に設定した場合、プリンタ起動後の 60 秒間のみ探索に応答します。

デフォルト値	検索可能
設定項目	検索不可、60 秒、検索可能

[セキュリティ]

通信のセキュリティを設定します。

BV410T-G/T、BV420T-G/T の場合、“SSP” 固定です。“なし”、“リンクレベル”を設定しても、“SSP” が取得されます。

デフォルト値	SSP
設定項目	なし、SSP、リンクレベル

[インクワイリー／接続インターバル]

ホストからの探索および接続に対する応答時間のインターバルを設定します。

接続に時間がかかることが多い環境下で、値を小さくすると接続性が向上する場合があります。

但し、小さい値を設定するとプリンタの消費電力が増します。

(1 ユニットあたり 0.625msec)

インクワイリー／接続インターバル ≥ インクワイリー／接続ウインドウ

デフォルト値	2048
設定範囲	18～4096

[インクワイリー／接続ウインドウ]

ホストからの探索および接続に対する応答時間のウインドウを設定します。

接続に時間がかかることが多い環境下で、値を小さくすると接続性が向上する場合があります。

但し、小さい値を設定するとプリンタの消費電力が増します。

(1 ユニットあたり 0.625msec)

デフォルト値	36
設定範囲	18～4096

[SSP 認証種別]

セキュリティ設定が SSP の場合の認証種別を設定します。

デフォルト値	認証キー確認：確認あり
設定項目	確認なし、認証キー確認：表示なし、認証キー確認：表示のみ、 認証キー確認：確認あり

[自動再接続]

Bluetooth 通信で特定の機器に自動接続するか否かを設定します。

自動再接続ありに設定すると電源 ON 時にオンライン表示後、約 30 秒間最後に接続していた機器への接続を試みます。接続が確立されない場合は他の機器からの接続を待ちます。

デフォルト値	無効
設定項目	無効、有効

【ボンディング】グループ

[登録方法]

ボンディングリストのプリンタへの登録方法を選択します。

“上書き”は、プリンタのボンディングテーブルをボンディングリストの情報に置き換えます。

ボンディングリストに1つも登録しない場合、プリンタのボンディングテーブルを初期化できます。

“追加”は、プリンタの現在のボンディングテーブルにボンディングリストの情報を追加します。

プリンタに設定されたボンディング情報が10件を超えた場合、一番古い情報から上書きされます。

但し、同じBDアドレスが既に存在していた場合、そのボンディング情報が上書きされます。

“*****”を設定した場合、“*****”以外のボンディング情報はすべて削除されます。

デフォルト値	上書き
設定項目	追加、上書き

[ボンディングリスト]

プリンタのボンディングテーブルに登録するデバイスのBDアドレスとPINコードを一覧表示します。

指定した登録方法でリストのボンディング情報をプリンタに登録します。

最大10件の登録ができます。

PINコードはセキュリティ情報であるため、入力時以外はアスタリスクで表示されます。

※本項目は、プリンタに設定されている値を取得できません。

そのため取得しても表示は変わりません。

[BD アドレス]

ボンディングリストに追加するデバイスのBDアドレスを入力します。

入力は12文字固定の“0”から“F”の半角文字で行ってください。

“*****”を入力した場合、接続相手を指定しない設定ができます。

[PIN コード]

BDアドレスのデバイスに設定されているPINコードを入力します。

入力は1文字から16文字までの半角英数字でおこなってください。

【RS-232C】グループ

[ボーレート]

RS-232C 通信で使用するデータ転送速度を設定します。

デフォルト値	9600 bps
設定項目	2400 bps、4800bps、9600 bps、19200 bps、38400 bps、115200 bps

[データ長]

RS-232C 通信で使用するデータ長を設定します。

デフォルト値	8 bits
設定項目	7 bits、8 bits

[パリティ]

RS-232C 通信で使用するエラーチェックを設定します。

デフォルト値	偶数
設定項目	なし、偶数、奇数

[ストップビット]

RS-232C 通信で使用するストップビット長を設定します。

デフォルト値	1 bit
設定項目	1 bit、2 bits

[フロー制御]

RS-232C 通信で使用するデータフロー制御を設定します。

デフォルト値	XON+READY AUTO
設定項目	XON+READY AUTO、XON/XOFF AUTO、READY/BUSY RTS、XON+XOFF、READY/BUSY

【USB】グループ

[USB シリアル番号]

USB のシリアル番号を有効にするか否かを設定します。

無効にした場合、USB ポートに対して接続が確立されます。

USB ポートを変えるたびにプリンタドライバのインストールが発生します。

有効にした場合、表示されたシリアル番号に対して接続が確立されます。

シリアル番号ごとにプリンタドライバのインストールが発生します。

デフォルト値	無効
設定項目	無効、有効

シリアル番号にはプリンタ固有の番号が表示されます。

この設定は変更できません。

[自動ステータス応答]

USB 通信で自動ステータス応答を返信する機能を有効にするか否かを設定します。

デフォルト値	無効
設定項目	無効、有効

LANタブ

一般

一般 (2)

一般 (3)

デバイス

LAN

無線LAN

無線LAN(2)

RFID

SOTI

☐ TCP/IP

LAN I/F:

有効(自動)

IPアドレス:

192 . 168 . 10 . 20

サブネットマスク:

255 . 255 . 255 . 0

デフォルトゲートウェイ:

0 . 0 . 0 . 0

☐ プロトコル

LPR:

有効

ソケット:

有効

ポート番号:

9100

WEBプリンタ:

無効

SNMP:

有効

FTP/SFTP:

FTP

☐ サーバー

DHCP:

有効

入力形式:

HEX

DHCPクライアントID:

DHCPホスト名:

☐ SNMP Trap

[1]:

無効

0 . 0 . 0 . 0

[2]:

無効

0 . 0 . 0 . 0

[3]:

無効

0 . 0 . 0 . 0

[4]:

無効

0 . 0 . 0 . 0

[5]:

無効

0 . 0 . 0 . 0

[6]:

無効

0 . 0 . 0 . 0

[7]:

無効

0 . 0 . 0 . 0

[8]:

無効

0 . 0 . 0 . 0

[9]:

無効

0 . 0 . 0 . 0

[10]:

無効

0 . 0 . 0 . 0

ヘルプ

リセット

保存

適用

キャンセル

戻る

進む

完了

【TCP/IP】グループ

[LAN I/F]

有線 LAN または無線 LAN での通信を有効にするか否かを設定します。

デフォルト値	有効（自動）
設定項目	無効、有効（自動）、有効（有線 LAN）、有効（無線 LAN）

[IP アドレス]

IP アドレスを設定します。

デフォルト値	192.168.10.20
設定範囲	0.0.0.0～255.255.255.255

[サブネットマスク]

サブネットマスクを設定します。

デフォルト値	255.255.255.0
設定範囲	0.0.0.0～255.255.255.255

[デフォルトゲートウェイ]

デフォルトゲートウェイのアドレスを設定します。

デフォルト値	0.0.0.0
設定範囲	0.0.0.0～255.255.255.255

【プロトコル】グループ

[LPR]

LPR プロトコルでの通信を有効にするか否かを設定します。

デフォルト値	有効
設定項目	無効、有効

[ソケット]

ソケット通信を有効にするか否かを設定します。

デフォルト値	有効
設定項目	無効、有効

[ポート番号]

ソケット通信で使用するポート番号を設定します。

デフォルト値	9100
設定範囲	0～65535

[WEB プリンタ]

WEB プリンタ機能を有効にするか否かを設定します。

デフォルト値	無効
設定項目	無効、有効

[SNMP]

SNMP 通信を有効にするか否かを設定します。

デフォルト値	有効
設定項目	無効、有効

[FTP/SFTP]

FTP 通信を有効にするか否かを設定します。

デフォルト値	FTP
設定項目	無効、FTP、SFTP

【SNMP Trap】グループ

[1] [2] [3] [4] [5] [6] [7] [8] [9] [10]

SNMP トラップを有効にするか否かを設定します。

デフォルト値	無効
設定項目	無効、エラー時、ジョブ終了時、エラー時&ジョブ終了時

有効にした場合、SNMP トラップを監視する端末の IP アドレスを設定します。

「無効」以外が設定された場合、IP アドレスの入力が有効となります。

「無効」に設定すると、IP アドレスはデフォルト値に戻ります。

デフォルト値	0.0.0.0
設定範囲	0.0.0.0～255.255.255.255

【サーバー】グループ

[DHCP]

DHCP クライアントを有効にするか否かを設定します。

デフォルト値	有効
設定項目	無効、有効

[DHCP ホスト名]

ホスト名を設定します。

未入力にした場合、プリンタの MAC アドレスを使用します。

入力は最大 32 文字までの半角英数字と ' - ' (ハイフン) と ' . ' (ピリオド)で行なってください。

[入力形式]

DHCP クライアント ID を入力するときのコードを設定します。

変更した場合、DHCP クライアント ID はクリアされます。

デフォルト値	HEX
設定項目	HEX、ASCII

[DHCP クライアント ID]

DHCP クライアント ID を設定します。

入力形式が HEX の場合、入力は最大 128 文字までの“0”から“F”の半角文字で行なってください。

入力は 2 文字固定の“0”から“F”の半角文字で行なってください。

大文字と小文字の区別はありません。

2 文字で 1 文字の HEX を表します。(例：“0”→“30”、“A”→“41”)

文字数が奇数の場合、エラーになります。

入力形式が ASCII の場合、入力は最大 64 文字までの半角英数字で行なってください。

無線LANタブ

☐ 一般
 ☐ 一般 (2)
 ☐ 一般 (3)
 ☐ デバイス
 ☐ LAN
 ☒ 無線LAN
 ☐ 無線LAN(2)

☐ 無線LAN詳細

ESS ID:

ビーコン送信間隔: 秒

ローミング閾値(下限):

ローミング閾値(上限):

カントリーコード:

☐ 無線LAN拡張

無線LANパワーセーブ:

☐ 認証

(1)接続モード:

(2)暗号化:

(3)ネットワーク認証:

(4)EAP種別:

☐ 802.11a/b/g/n

APモード チャンネル:

周波数帯設定:

Infrastructure チャンネルマスク:

2.4GHz:
 ☒ 1 ch
 ☒ 2 ch
 ☒ 3 ch
 ☒ 4 ch
 ☒ 5 ch
 ☒ 6 ch
 ☒ 7 ch
 ☒ 8 ch
 ☒ 9 ch
 ☒ 10 ch
 ☒ 11 ch
 ☒ 12 ch

5GHz:
 ☒ 36 ch
 ☒ 40 ch
 ☒ 44 ch
 ☒ 48 ch
 ☒ 52 ch
 ☒ 56 ch
 ☒ 60 ch
 ☒ 64 ch
 ☒ 100 ch
 ☒ 104 ch
 ☒ 108 ch
 ☒ 112 ch

☐ WEP

キーインデックス:

入力形式:

WEPキー:

【無線 LAN 詳細】グループ

[ESS ID]

ESS ID を設定します。

入力は最大 32 文字までの半角英数字で行なってください。

デフォルト値	TOSHIBATEC
--------	------------

[ビーコン送信間隔]

ビーコンへの送信間隔を設定します。

デフォルト値	0.1 秒
設定範囲	0.1～1.0 秒

[ローミング閾値（下限）]

ローミングの感度のしきい値（下限）を設定します。

デフォルト値	70
設定範囲	0～99

[ローミング閾値（上限）]

ローミングの感度のしきい値（上限）を設定します。

デフォルト値	50
設定範囲	0～99

[カントリーコード]

設定されたカントリーコードが表示されます。

この設定は変更できません。

【無線 LAN 拡張】グループ

[無線 LAN パワーセーブ]

パワーセーブするか否かを設定します。

デフォルト値	有効
設定項目	無効、有効

【認証】グループ

[(1) 接続モード]

接続モードを設定します。

デフォルト値	Infrastructure
設定項目	AP MODE、Infrastructure

[(2) 暗号化]

暗号化方式を選択します。

“(1) 接続モード”の設定によって使用可能な項目のみ表示します。

デフォルト値	無効
設定項目	無効、WEP40

[(3) ネットワーク認証]

ネットワーク認証方式を選択します。

“(1) 接続モード”と“(2) 暗号化”の設定によって使用可能な項目のみ表示します。

デフォルト値	Open System
設定項目	Open System 、 WPA-Personal 、 WPA2-Personal 、 WPA-Enterprise 、 WPA2-Enterprise

[(4) EAP 種別]

EAP の種類を選択します。

“(1) 接続モード”と“(2) 暗号化”と“(3) ネットワーク認証”の設定によって使用可能な項目のみ表示します。

デフォルト値	無効
設定項目	無効、EAP-TLS、EAP-TTLS、EAP-FAST MSCHAPV2、PEAP MSCHAPV2、PEAP MSCHAPV2 (w/o Cert.)

<認証方式設定表>

(1) 接続モード	(2) 暗号化	(3) ネットワーク認証	(4) EAP 種別
AP MODE	無効	Open System	無効
		WPA-Personal	無効
		WPA2-Personal	無効
Infrastructure	無効	Open System	無効
	WEP40	Open System	無効
	無効	WPA-Personal	無効
	無効	WPA2-Personal	無効
	無効	WPA-Enterprise	EAP-TLS
			EAP-TTLS
			EAP-FAST MSCHAPV2
			PEAP MSCHAPV2
			PEAP MSCHAPV2 (w/o Cert.)
	無効	WPA2-Enterprise	EAP-TLS
			EAP-TTLS
			EAP-FAST MSCHAPV2
			PEAP MSCHAPV2
			PEAP MSCHAPV2 (w/o Cert.)

【802.11a/b/g/n】グループ

[AP モードチャネル]

IEEE802.11a/b/g/n のチャンネルを設定します。

デフォルト値	1 ch
設定項目	1 ch、2 ch、3 ch、4 ch、5 ch、6 ch、7 ch、8 ch、9 ch、10 ch、11 ch、12 ch、13 ch、14ch、36 ch、40 ch、44 ch、48 ch、149 ch、153 ch、157 ch、161 ch、165 ch

[周波数帯設定]

Infrastructure で使用する周波数帯を設定します。

デフォルト値	Dual Band
設定項目	2.4GHz、5GHz、Dual Band

[Infrastructure チャンネルマスク]

[2.4GHz]

2.4GHz 帯のチャンネル毎にスキャン/接続をマスクすることができます。

チェックが無効の場合スキャン/接続対象外となります。

デフォルト値	全チェック
設定項目	1 ch, 2 ch, 3 ch, 4 ch, 5 ch, 6 ch, 7 ch, 8 ch, 9 ch, 10 ch, 11 ch, 12 ch, 13 ch, 14 ch

[5GHz]

5GHz 帯のチャンネル毎にスキャン/接続をマスクすることができます。

チェックが無効の場合スキャン/接続対象外となります。

デフォルト値	全チェック
設定項目	36 ch, 40 ch, 44 ch, 48 ch, 52 ch, 56 ch, 60 ch, 64 ch, 100 ch, 104 ch, 108 ch, 112 ch, 116 ch, 120 ch, 124 ch, 128 ch, 132 ch, 136 ch, 140 ch, 149 ch, 153 ch, 157 ch, 161 ch, 165 ch

【WEP】グループ

[キーインデックス]

デフォルトで使用する WEP キーの番号を設定します。

デフォルト値	1
設定範囲	1～4

[入力形式]

WEP キーを入力するときのコードを設定します。

変更した場合、WEP キーはクリアされます。

デフォルト値	HEX
設定項目	HEX、ASCII

[WEP キー]

認証方式の暗号化で使用する WEP キーを設定します。

WEP キーサイズを選択し、WEP キーを入力します。

WEP キーサイズを変更した場合、WEP キーはクリアされます。

<40 bits>

入力形式が HEX の場合、入力は 10 文字固定の“0”から“F”の半角文字で行なってください。

大文字と小文字の区別はありません。

入力形式が ASCII の場合、入力は 5 文字固定の半角英数字で行なってください。

セキュリティ情報であるため、入力時以外は隠し文字で表示されます。

デフォルト値	無効
設定項目	無効、40 bits

無線LAN (2) タブ

無線LAN (2) タブのスクリーンショット。タブは「無線LAN (2)」で、WPA-PSK、アカウント、サブリカントのセクションが展開されています。

WPA-PSK: ☐ WPA-PSK
事前共有キー: 00000000

アカウント: ☐ アカウント
認証ユーザー名:
認証パスワード:

サブリカント: ☐ サブリカント
サーバー証明書: ...
クライアント証明書: ...
キーファイル: ...

【WPA-PSK】グループ

〔事前共有キー〕

ネットワーク認証の WPA の暗号化で使用するキーを設定します。
入力は 8 文字から 64 文字までの半角英数字で行なってください。
セキュリティ情報であるため、入力時以外は隠し文字で表示されます。

デフォルト値	00000000
--------	----------

【アカウント】グループ

〔認証ユーザ名〕

サブリカントの認証を行なうためのユーザ名を設定します。
入力は最大 32 文字までの半角英数字で行なって下さい。

〔認証パスワード〕

サブリカントの認証を行なうためのパスワードを設定します。
入力は最大 32 文字までの半角英数字で行なって下さい。
セキュリティ情報であるため、入力時以外は隠し文字で表示されます。

【サブリカント】グループ

〔サーバー証明書〕

送信するサーバー証明書ファイルを絶対パスで設定します。

ボタンからファイルの選択画面での設定が行なえます。
未設定の場合、データの送信を実行しません。
データがない空白ファイルを設定した場合、現在の設定を無効にできます。
存在しないファイルを設定した場合、エラーになります。

〔クライアント証明書〕

送信するクライアント証明書ファイルを絶対パスで設定します。

ボタンからファイルの選択画面での設定が行なえます。
未設定の場合、データの送信を実行しません。
データがない空白ファイルを設定した場合、現在の設定を無効にできます。
存在しないファイルを設定した場合、エラーになります。

[キーファイル]

送信するクライアント証明書のキーファイルを絶対パスで設定します。



ボタンからファイルの選択画面での設定が行なえます。

未設定の場合、データの送信を実行しません。

データがない空白ファイルを設定した場合、現在の設定を無効にできます。

存在しないファイルを設定した場合、エラーになります。

RFIDタブ

※ 本タブは、BV410T-G/T のみ有効

一般一般 (2)一般 (3)デバイスLAN無線LAN無線LAN (2)RFIDSOTI

モジュール

モジュールタイプ:

無し

タグタイプ:

NONE

使用国:

UHF設定

出力レベル:

18

Q値:

0

タグ性能判定:

0

書き込み性能しきい値:

0

書き込み性能下限:

0

チャンネル:

AUTO

マルチワード書き込み:

無効

キャリブレーションモード:

無効

書き込み位置:

0.0

 mm

リトライ

再発行時の位置調整:

0

 mm

再発行リトライ枚数:

3

 枚

読取りリトライ回数:

5

 回

読取りリトライ時間:

4.0

 秒

書き込みリトライ回数:

5

 回

書き込みリトライ時間:

2.0

 秒

【モジュール】グループ

[モジュールタイプ]

プリンタに取付けられた RFID モジュールのタイプを設定します。

デフォルト値	無し
設定項目	無し、U4（UHF 帯）

[タグタイプ]

RFID タグのタイプを設定します。

デフォルト値	NONE
設定項目	NONE、EPC C1 Gen2

[使用国]

設定された使用国を表示します。
この設定は変更できません。

【UHF 設定】グループ

[出力レベル]

UHF 帯の無線出力レベルを設定します。

デフォルト値	18
設定範囲	0～18

[Q 値]

RFID タグを検出する感度を設定します。

デフォルト値	0
設定範囲	0～15

50

[タグ性能判定]

RFID タグへの書込みエラーの判定基準となる AGC スレッシュホールド値を設定します。

デフォルト値	0
設定範囲	0～15

[書込み性能しきい値]

RFID タグへの書込みを実行する判定基準となるしきい値を設定します。

デフォルト値	0
設定範囲	0～15

[書込み性能下限]

RFID タグへの書込みのリトライを実行する判定基準となる下限値を設定します。

デフォルト値	0
設定範囲	0～15

[チャンネル]

RFID の書込みに使用するチャンネルを設定します。

デフォルト値	AUTO
設定項目	AUTO、2 CH、3 CH、4 CH、5 CH、6 CH、7 CH、8 CH

[マルチワード書込み]

Gen2 互換の響チップで、データの書込み時間を短縮するための機能を使用するか否かを設定選択します。

デフォルト値	無効
設定項目	無効、有効

[キャリブレーションモード]

RFID キャリブレーションモードを設定します。

デフォルト値	無効
設定項目	無効、有効

[書き込み位置]

RFID 書込み／読み取り発行動作時の、ホームポジションからの最適書込み／読み取り位置を設定します。

デフォルト値	0.0 mm
設定範囲	-999.9～999.9 mm

【リトライ】グループ

[再発行時の位置調整]

再発行で書込みをリトライするときに正転／逆転フィードする量を設定します。

デフォルト値	0 mm
設定範囲	-99～99 mm

[再発行リトライ枚数]

再発行でリトライする枚数を設定します。

デフォルト値	3 枚
設定範囲	0～255 枚

[読取りリトライ回数]

読取りをリトライする回数を設定します。

デフォルト値	5 回
設定範囲	0～255 回

[読取りリトライ時間]

読取りをリトライする時間を設定します。

デフォルト値	4.0 秒
設定範囲	0.0～9.9 秒

[書込みリトライ回数]

書込みをリトライする回数を設定します。

デフォルト値	5 回
設定範囲	0～255 回

[書込みリトライ時間]

書込みリトライ時間を設定します。

デフォルト値	2.0 秒
設定範囲	0.0～9.9 秒

SOTI タブ

一般

一般 (2)

一般 (3)

デバイス

LAN

無線LAN

無線LAN(2)

SOTI

☐ SOTI

MQTT:

無効

ホスト名またはIPアドレス:

ポート番号:

8883

サーバー証明書:

...

ユーザー名:

パスワード:

テナントID:

【SOTI】グループ

[MQTT]

MQTT 機能を有効にするか否かを設定します。

デフォルト値	無効
設定項目	無効、有効

[ホスト名または IP アドレス]

MQTT 機能で接続先 IP アドレスまたはホスト名を設定します。

入力は最大 255 文字までの半角英数記号（スペース除く）で行なってください。

[ポート番号]

MQTT 機能で使用するポート番号を設定します。

デフォルト値	8883
設定項目	8883、1883

[サーバー証明書]

送信するサーバー証明書ファイルを絶対パスで設定します。

...

 ボタンからファイルの選択画面での設定が行なえます。

未設定の場合、データの送信を実行しません。

データがないブランクファイルを設定した場合、現在の設定を無効にできます。

存在しないファイルを設定した場合、エラーになります。

[ユーザー名]

認証を行なうためのユーザ名を設定します。

入力は最大 40 文字までの半角英数記号（スペース除く）で行なって下さい。

[パスワード]

認証を行なうためのパスワードを設定します。

入力は最大 40 文字までの半角英数記号（スペース除く）で行なって下さい。

セキュリティ情報であるため、入力時以外は隠し文字で表示されます。

[テナント ID]

テナント ID を設定します。

入力は最大 40 文字までの半角英数記号（スペース除く）で行なって下さい。

メンテナンス

プリンタの自己診断やメモリ管理等でメンテナンスを行ないます。
「メニューアイコン」の「メンテナンス」アイコンをクリックすると、表示されます。
プリンタが"TPCL"モードの状態で行ってください。

情報タブ



[ダイアグ情報]

プリンタのファームウェアの情報が表示されます。
取得を実行すると表示が最新の情報に更新されます。

[メンテナンスカウンタ情報]

プリンタのメンテナンスカウンタの情報が表示されます。
取得を実行すると表示が最新の情報に更新されます。

[取得]

プリンタから現在のプリンタ情報を取得し、ダイアグ情報、メンテナンスカウンタの表示を更新します。
クリックすると、処理が開始されます。
処理を開始すると進行状況画面が表示され、完了すると完了画面が表示されます。
プリンタがオンラインモードで状態がアイドルの場合に実行されます。

[保存]

取得したダイアグ情報とメンテナンスカウンタの内容をひとつのファイルに保存します。
クリックすると、ファイルの選択画面が表示されます。任意のファイルを指定して「保存」をクリックすると、ファイルに保存されます。
プリンタから情報取得に成功するとボタンが有効になります。

設定タブ

情報 設定

メモリアロケート

True Type Font 登録領域: 0 KB (0 Block)

ビットマップ外字登録領域: 1792 KB (14 Block)

☒ BASIC領域を保持する

BASICファイル登録領域:

PCセーブ登録領域:

アロケート

メモリフォーマット

場所: 内蔵メモリ

範囲: PCセーブ & ビットマップ外字

フォーマット

メンテナンスカウンタクリア

全カウンタ

クリア

パラメータクリア

仕向地: QM

初期化

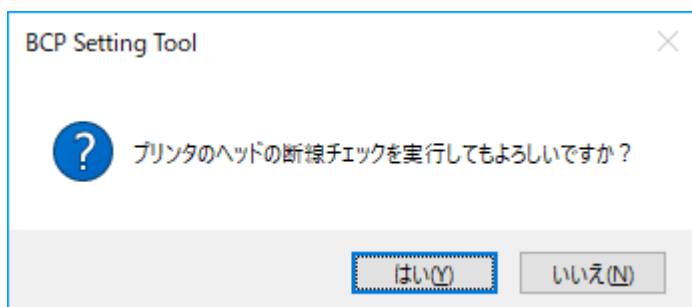
ヘッド断線チェック...

プリンタリセット...

ログ採取...

[ヘッド断線チェック...]

プリンタのヘッドの断線チェックを実行します。
クリックすると、以下の確認メッセージが表示されます。

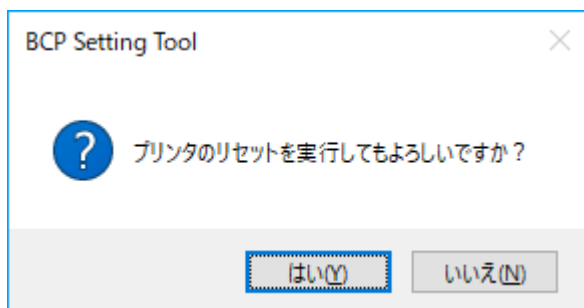


[はい] をクリックすると、処理が開始されます。
[いいえ] をクリックすると、中止します。

処理を開始すると進行状況画面が表示され、完了すると完了画面が表示されます。
プリンタがオンラインモードで状態がアイドルの場合に実行されます。
断線チェック完了後、ヘッドが断線しているプリンタはエラーになります。[プリンタリセット] でアイドル状態に戻せます。

[プリンタリセット...]

プリンタのリセットを実行します。
クリックすると、以下の確認メッセージが表示されます。



「はい」をクリックすると、処理が開始されます。

「いいえ」をクリックすると、中止します。

処理を開始すると進行状況画面が表示され、完了すると完了画面が表示されます。

プリンタの状態に関係なく実行されます。

プリンタの状態によってリセットが効かないことがあります。

【ログ採取...】

プリンタからログ情報を取得し、ファイルに保存します。

クリックすると、ファイルの選択画面が表示されます。任意のファイルを指定して「保存」をクリックすると、処理が開始されます。

処理を開始すると進行状況画面が表示され、完了すると完了画面が表示されます。

プリンタがオンラインモードで状態がアイドルの場合に実行されます。

ログは弊社がプリンタ異常の原因を調査するためのものです。

※ ログ採取は、接続インターフェースを“USB”または“LAN”に設定して実行してください。

【メモリアロケート】

内蔵メモリを各領域に指定したサイズで割当てされます。

各領域の合計が内蔵メモリの総容量になるように指定してください。

指定した容量とプリンタの内蔵メモリの容量が合わない場合、プリンタで自動調整されます。

優先順位： True Type フォント>ビットマップ外字域>BASIC ファイル>PC セーブ

【True Type フォント登録領域】

True Type フォントを保存する領域のサイズを選択します。

デフォルト値	0 KB
設定項目	0～3072 KB（128 KB 単位）

【ビットマップ外字登録領域】

ビットマップ外字を保存する領域のサイズを選択します。

デフォルト値	1792 KB
設定項目	0～3072 KB（128 KB 単位）

【BASIC 領域を保持する】

BASIC ファイル登録領域を保持するかをチェック有／無により設定します。

チェック有りの場合：BASIC ファイルの登録領域はアロケートされずに既存のデータが保持されます（デフォルト）。

チェック無しの場合：【BASIC ファイル登録領域】が選択可能となり、選択したサイズでアロケートされます。

【BASIC ファイル登録領域】

BASIC プログラムを保存する領域のサイズを選択します。

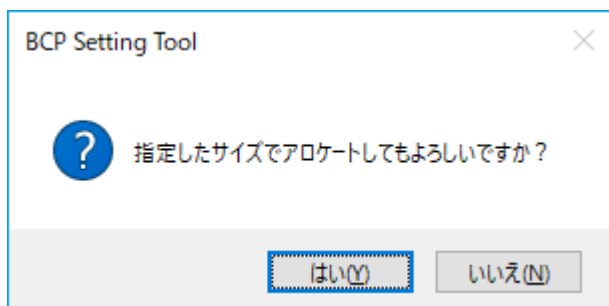
デフォルト値	0 KB
設定項目	0～3072 KB（128 KB 単位）

[PC セーブ登録領域]

PC セーブのデータを保存する領域のサイズが表示されます。
他の領域に割当てたメモリの残りの容量が割当てられます。
マイナス値にならないように他の領域を調整してください。
[BASIC 領域を保持する] がチェック有りの場合は、表示されません。

[アロケート...]

各領域を指定されたサイズにアロケートします。
クリックすると、以下の確認メッセージが表示されます。



[はい] をクリックすると、処理が開始されます。
[いいえ] をクリックすると、中止します。

処理を開始すると進行状況画面が表示され、完了すると完了画面が表示されます。
プリンタがオンラインモードで状態がアイドルの場合に実行されます。
アロケートコマンドをプリンタに送信後、メモリのアロケートが完了するまで待機します。
アロケートされるサイズに変更が無い場合も既存のデータは削除されます。

【メモリフォーマット】

指定したメモリの既存のデータが削除されます。

[場所]

フォーマットを実行するメモリを選択します。

デフォルト値	内蔵メモリ
設定項目	内蔵メモリ、USB メモリ

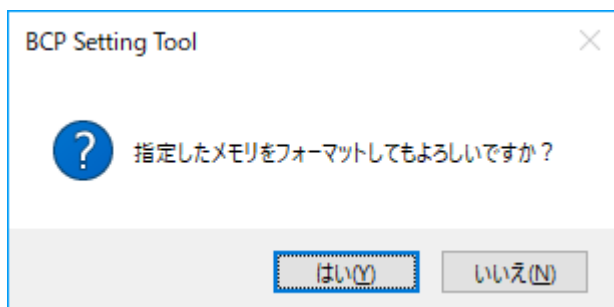
[範囲]

フォーマットを実行する範囲を選択します。

デフォルト値	PC セーブ & ビットマップ外字
設定項目	PC セーブ & ビットマップ外字、PC セーブ、ビットマップ外字

[フォーマット...]

指定したメモリの指定した範囲をフォーマットします。
クリックすると、以下の確認メッセージが表示されます。



[はい] をクリックすると、処理が開始されます。
[いいえ] をクリックすると、中止します。

処理を開始すると進行状況画面が表示され、完了すると完了画面が表示されます。
プリンタが TPCL モードで状態がアイドルの場合に実行されます。
フォーマットコマンドをプリンタに送信後、メモリのフォーマットが完了するまで待機します。

【メンテナンスカウンタクリア】

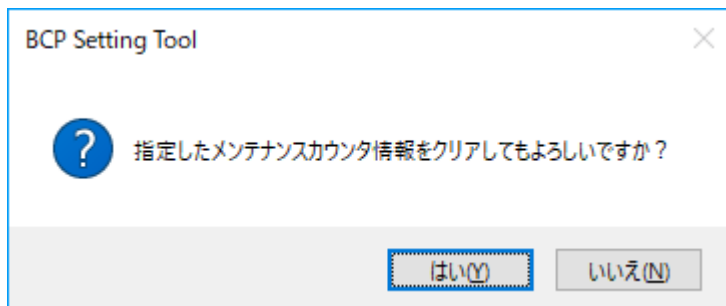
メンテナンスカウンタ情報をクリアする項目を選択します。

デフォルト値	全カウンタ
設定項目	全カウンタ、ラベル走行距離（FEED）、印字距離（PRINT）、カット回数（CUT）、その他（FEED, PRINT, CUT 以外）

[クリア...]

選択したメンテナンスカウンタの情報が0にクリアされます。

クリックすると、以下の確認メッセージが表示されます。



[はい] をクリックすると、処理が開始されます。

[いいえ] をクリックすると、中止します。

処理を開始すると進行状況画面が表示され、完了すると完了画面が表示されます。

完了後にメンテナンスカウンタ情報の表示が更新されます。

プリンタが TPCL モードで状態がアイドルの場合に実行されます。

【パラメータクリア】

[仕向地]

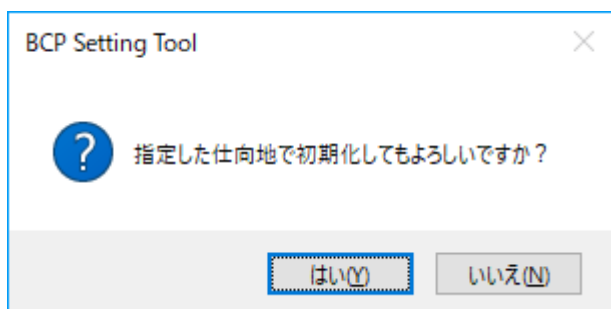
パラメータクリアを実行した後に使用する仕向地を選択します。

デフォルト値	QM
設定項目	QM、JA、CN

[初期化...]

選択した仕向地でプリンタの RAM がクリアされます。

クリックすると、以下の確認メッセージが表示されます。



[はい] をクリックすると、処理が開始されます。

[いいえ] をクリックすると、中止します。

処理を開始すると進行状況画面が表示され、完了すると完了画面が表示されます。

完了後にパラメータ情報の表示が更新されます。

プリンタが TPCL モードで状態がアイドルの場合に実行されます。

ダウンロード

プリンタにファームウェアのダウンロードを行ないます。
「メニューアイコン」の「ダウンロード」アイコンをクリックすると、表示されます。

ファームウェアダウンロードタブ

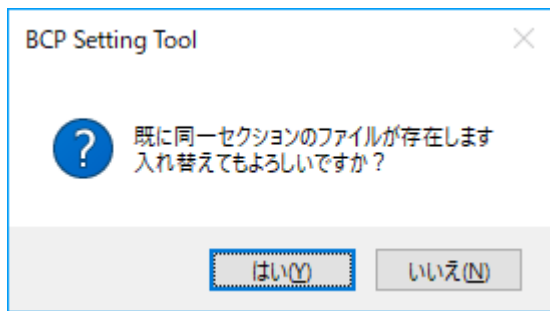
ファームウェアをダウンロードする場合、途中で電源が切れることが無い環境で実行してください。
ファームウェアの更新中にプリンタの電源が切れた場合、プリンタが起動しなくなる場合があります。
プリンタが正常に起動する場合、再度ダウンロードを行なってください。プリンタが起動しない場合、弊社営業にお問合せください。

〔ROM リスト〕

プリンタにダウンロードするファームウェアの ROM ファイルが表示されます。
デフォルト値は、「空リスト」になります。
リストはROM ファイルを追加した順番に関係なく、セクション項目で整列されます。整列順はセクション項目がBOOT、MAIN、C/G、XML、KANJI、CHINESE、ZFONT、OTFCJK2、KANJI2、WLAN FWの順になります。
ダウンロードはリストの上から順番に実行されます。
ROM ファイルを選択すると、リストの下にファームウェアの情報が表示されます。

〔追加...〕

指定した ROM ファイルを〔ROM リスト〕に追加します。
クリックすると、ファイルの選択画面が表示されます。ROM ファイルを指定して〔開く〕をクリックすると、〔ROM リスト〕に追加されます。
指定されたファイルが ROM 形式でない、または、〔プリンタ設定〕の〔プリンタ〕と機種が異なる場合、エラーメッセージが表示されます。
同じセクションのファイルは1つしか追加できません。既に存在するセクションと同一のファイルを選択すると、以下の確認メッセージが表示されます。



「はい」をクリックすると、ファイルが入れ替わります。

「いいえ」をクリックすると、中止します。

[削除]

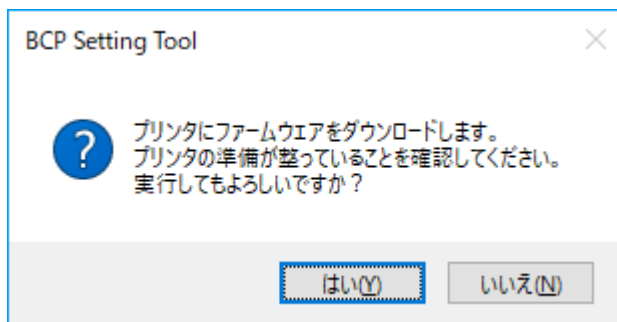
クリックすると、[ROM リスト] で選択した ROM ファイルが削除されます。

[ROM リスト] で ROM ファイルを選択した場合、有効になります。

[ダウンロード開始...]

[ROM リスト] の ROM ファイルをプリンタにダウンロードします。

クリックすると、以下の確認メッセージが表示されます。



「はい」をクリックすると、処理が開始されます。

「いいえ」をクリックすると、中止します。

ROM ファイルの読み込みに失敗、または、ダウンロードデータの生成に失敗した場合、エラーメッセージが表示されます。

処理を開始すると進行状況画面が表示され、完了すると完了画面が表示されます。

プリンタがオンラインモードで状態がアイドルの場合に実行されます。

[ROM リスト] が設定されていない場合、無効になります。

ROM ファイルをプリンタに送信後、プリンタの更新が完了するまで待機します。MAIN と BOOT プログラムの場合、完了時にファームウェアの情報が更新されたことを確認します。

複数のファイルがダウンロードされる場合、1つのファイルの処理が繰り返されます。

※ ファームウェアのダウンロードは、プリンタ側の制御コードの設定、ツール側の制御コードの設定ともに、“自動”に設定して行ってください。

※ 複数ファイルを選択しダウンロードする場合、「自動断線チェック」と「自動用紙測定」の設定を”無効”にして実施ください。

※ ダウンロード実行すると、プリンタは TPCL に切り替わります。

BASICダウンロードタブ

ファームウェア
BASIC
OpenTypeFont
HTML/XML ROM作成

☐ メモリアロケート

True Type Font 登録領域: 0 KB (0 Block)

 ビットマップ外字登録領域: 1792 KB (14 Block)

☒ BASIC領域を保持する

 BASICファイル登録領域:

 PCセーブ登録領域:

タイプ	開始ブロック	使用ブロック	ファイル名	追加	クリア
メインプログラム	0			追加	クリア
システムモードプログラム	1			追加	クリア
データファイル	2			追加	クリア

ダウンロード開始...

BASIC プログラムをダウンロードする場合、途中で電源が切れることが無い環境で実行してください。
ダウンロード中にプリンタの電源が切れた場合、再度ダウンロードを行なってください。

【メモリアロケート】

プリンタの内蔵メモリをアロケートするか否かを指定します。
 チェックボックスのデフォルト値は、「チェック無し」になります。
 チェック有りの場合、登録領域の設定が有効になります。
 ダウンロードを実行した場合、内蔵メモリを各領域に指定したサイズで割当てされます。
 各領域の合計が内蔵メモリの総容量になるように指定してください。
 指定した容量とプリンタの内蔵メモリの容量が合わない場合、プリンタで自動調整されます。

優先順位： True Type フォント＞ビットマップ外字＞BASIC ファイル＞PC セーブ

[True Type フォント登録領域]

True Type フォントを保存する領域のサイズを選択します。

デフォルト値	0 KB
設定項目	0～3072 KB (128 KB 単位)

[ビットマップ外字登録領域]

ビットマップ外字を保存する領域のサイズを選択します。

デフォルト値	1792 KB
設定項目	0～3072 KB (128 KB 単位)

[BASIC 領域を保持する]

BASIC ファイル登録領域を保持するかをチェック有／無により設定します。

チェック有りの場合：BASIC ファイルの登録領域はアロケートされずに既存のデータが保持されます（デフォルト）。

チェック無しの場合：[BASIC ファイル登録領域] が選択可能となり、選択したサイズでアロケートされます。

[BASIC ファイル登録領域]

BASIC プログラムを保存する領域のサイズを選択します。
512KB（4 ブロック）以上を指定してください。

デフォルト値	512 KB
設定項目	0～3072 KB（128 KB 単位）

[PC セーブ登録領域]

PC セーブのデータを保存する領域のサイズが表示されます。
他の領域に割当てたメモリの残りの容量が割当てられます。
マイナス値にならないように他の領域を調整してください。
[BASIC 領域を保持する] がチェック有りの場合は、表示されません。

[BASIC メインプログラム]

BASIC のメインプログラムを指定します。
指定されたファイルがプリンタの指定されたブロックにダウンロードされます。

開始ブロック

プログラムを保存するプリンタの領域を指定します。
他のブロックと重ならない値を指定してください。

デフォルト値	0
設定範囲	0～23

プログラムファイル

[追加]ボタンをクリックすると、ファイルの選択画面が表示されます。BASIC メインプログラムを指定して [開く] をクリックすると、ファイル名にフルパスが表示されます。
ファイルが指定されていない場合、[BASIC メインプログラム] は有効な設定になりません。
ファイルの読み込み、または、ダウンロードデータの生成に失敗した場合、エラーメッセージが表示されます。

[BASIC システムモードプログラム]

BASIC のシステムモードプログラムを指定します。
指定されたファイルがプリンタの指定されたブロックにダウンロードされます。

開始ブロック

プログラムを保存するプリンタの領域を指定します。
他のブロックと重ならない値を指定してください。

デフォルト値	1
設定範囲	0～23

プログラムファイル

[追加]ボタンをクリックすると、ファイルの選択画面が表示されます。BASIC システムモードプログラムを指定して [開く] をクリックすると、ファイル名にフルパスが表示されます。
ファイルが指定されていない場合、[BASIC システムモードプログラム] は有効な設定になりません。
ファイルの読み込み、または、ダウンロードデータの生成に失敗した場合、エラーメッセージが表示されます。

[BASIC データファイル]

BASIC のデータファイルを指定します。

指定されたファイルがプリンタの指定されたブロックにダウンロードされます。

開始ブロック

プログラムを保存するプリンタの領域を指定します。

他のブロックと重ならない値を指定してください。

デフォルト値	2
設定範囲	0～23

データファイル

[追加]ボタンをクリックすると、ファイルの選択画面が表示されます。BASIC のデータファイルを指定して [開く] をクリックすると、ファイル名にフルパスが表示されます。

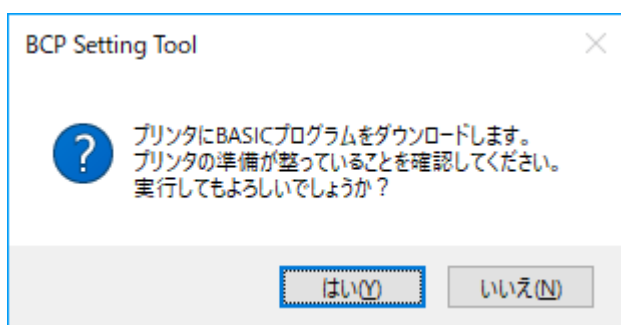
ファイルが指定されていない場合、[BASIC データファイル] は有効な設定になりません。

ファイルの読み込み、または、ダウンロードデータの生成に失敗した場合、エラーメッセージが表示されます。

[ダウンロード開始...]

有効された項目のプログラムのダウンロードや設定の更新を実行します。

クリックすると、以下の確認メッセージが表示されます。



[はい] をクリックすると、処理が開始されます。

[いいえ] をクリックすると、中止します。

処理を開始すると進行状況画面が表示され、完了すると完了画面が表示されます。

プリンタがオンラインモードで状態がアイドルの場合に実行されます。

有効な設定がされていない場合、無効になります。

プログラムやデータをプリンタに送信後、プリンタの更新が完了するまで待機します。

複数の項目が有効になった場合、上から順に同じ処理が実行されます。

プリンタの現在のプログラムに関係なく、指定された設定でプログラムのダウンロードや設定の更新が行なわれます。

※ BASIC のダウンロードは、プリンタ側の制御コードの設定、ツール側の制御コードの設定ともに、“自動” に設定して行ってください。

※ 複数ファイルを選択しダウンロードする場合、「自動断線チェック」と「自動用紙測定」の設定を”無効” にして実施ください。

※ ダウンロード実行すると、プリンタは TPCL に切り替わります。

OpenTypeFont ダウンロードタブ

プリンタが"TPCL"モードの状態で行ってください。

ダウンロード済みフォント

ファイル名	サイズ
0	

追加フォント

ファイル名	サイズ
0	

☐ 上書きする

合計

ファイル数 0

ファイルサイズ 0 KB

空きバッファサイズ 0 KB

クリア 追加... クリア

取得... ダウンロード開始...

[ダウンロード済みフォント]

プリンタにインストール済みのフォント一覧を表示します。

フォント一覧を取得するには「取得...」ボタンをクリックし、プリンタからフォント情報を取得します。

[クリア]

インストール済みフォント一覧をクリアします。

このボタンを実行してもプリンタからフォントは削除されません。

[追加フォント]

追加する OpenTypeFont または TrueTypeFont 一覧を表示します。

[追加...]

追加フォントリストに OpenTypeFont または TrueTypeFont を追加します。

[追加] ボタンをクリックすると、ファイル選択ダイアログが表示されます。

選択できるファイルは拡張子が「*.otf」または「*.ttf」です。

「ダウンロード済みフォント」または「追加フォント」にリストされているフォント名と同名のフォントを追加することはできません。

[クリア]

追加フォント一覧をクリアします。

[上書きする]

プリンタに登録されているフォントを削除し、新規追加のフォントを上書きします。

ダウンロード済みのフォントはすべて削除されますのでご注意ください。

「上書きする」が有効の場合、複数インターフェースで同時にフォントファイルのダウンロードが可能です。

※補足：工場出荷時に予めダウンロードされているフォントは削除されません。

[取得...]

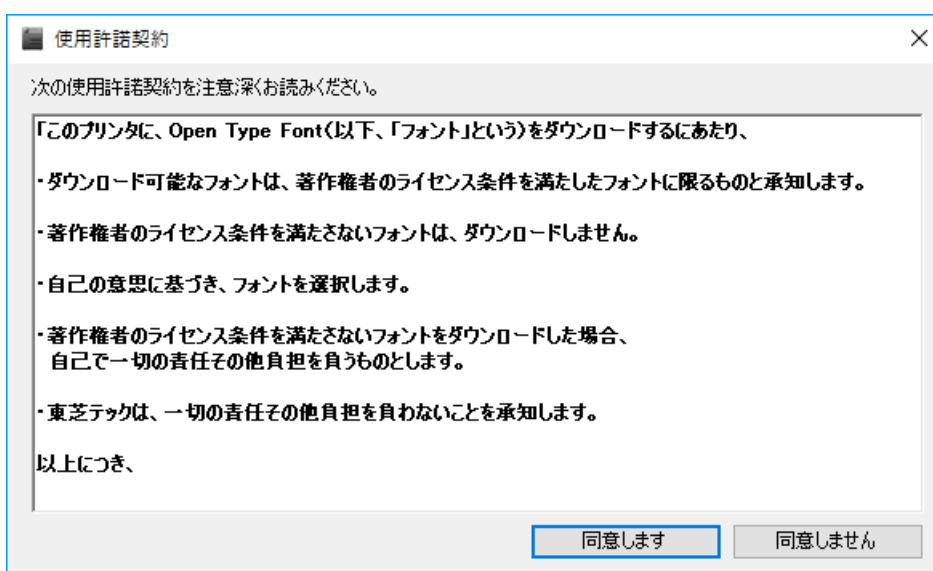
プリンタからフォント情報を取得します。

[ダウンロード開始...]

「追加フォント」リストに追加したフォントファイルのダウンロードを実行します。

プリンタ未接続または複数のインターフェースを設定している場合、グレイアウトします。

クリックすると、使用許諾確認メッセージが表示されます。



「同意します」をクリックするとダウンロードが開始します。

「同意しません」をクリックすると、中止します。

処理を開始すると進行状況画面が表示され、完了すると完了画面が表示されます。

プリンタがオンラインモードで状態がアイドルの場合に実行されます。

有効な設定がされていない場合、無効になります。

データをプリンタに送信後、プリンタへのダウンロードが完了するまで待機します。

複数のファイルを追加した場合、リストの上から順に同じ処理が実行されます。

※ Open Type Font のダウンロードは、プリンタ側の制御コードの設定、ツール側の制御コードの設定ともに、“自動”に設定して行ってください。

HTML/XML ROM作成タブ

ROMタイプ: HTML/XML

ソースパス: ...

セクション: XML アドレス: 19800000

バージョン: V1.0 サイズ: 1024

モデル: BV400 日付: 01.JAN.2008

ソースリスト:

No.	ID	ファイル名	オフセット	サイズ

作成

[ROM タイプ]

作成する ROM ファイルの種別を選択します。
設定により、「Load Address」と「Size」が異なります。

デフォルト値	HTML/XML
設定項目	HTML/XML

[ソースパス]

HTML/XML 用ファイルが格納された場所を指定します。

ボタンをクリックすると、フォルダの選択画面が表示されます。HTML/XML 用ファイルが格納されたフォルダ指定して [OK] をクリックすると、ファイル名にフルパスが表示されます。

[ROM タイプ] が「HTML/XML」の場合、[ソースリスト] にソースファイルが表示されます。
指定されたフォルダにファイルが 1 つもない場合、エラーメッセージが表示されます。空のファイル、または、ファイル名が 24 文字以上のファイルは含まれません。

[セクション]

HTML/XML 用 ROM のセクション情報を指定します。
※デフォルト設定から変更しないでください。

[バージョン]

HTML/XML 用 ROM のバージョン情報を指定します。
英数字とドット記号が使用できます。最大 5 文字まで入力できます。

[モデル]

HTML/XML 用 ROM 情報のモデル名を指定します。
※デフォルト設定から変更しないでください。

[アドレス]

HTML/XML 用 ROM のアドレス情報を指定します。
※デフォルト設定から変更しないでください。

[サイズ]

HTML/XML 用 ROM のサイズを指定します。
※デフォルト設定から変更しないでください。

[日付]

HTML/XML 用 ROM の日付情報を指定します。
年月日を「DDMMYYYY」の形式で入力してください。
DD : 日 (00,01,02.....29,30,31)
MMM : 月 (JAN,FEB,MAR,APR,MAY,JUN,JUL,AUG,SEP,OCT,NOV,DEC)
YYYY : 年 (2016,2017,2018....)

[ソースリスト]

[ROM タイプ] で「HTML/XML」の場合、[ソースパス] に指定されたフォルダ下の特定パスにあるファイルが表示されます。
表示されるファイルは、XML 用の ROM ファイルを作成するための元ファイルになります。

\XML フォルダ :	XML 用ファイル
\GRP_DATA フォルダ :	グラフィック用ファイル
\ENG\HTML フォルダ :	英語用ファイル
\ENG\PASS フォルダ :	英語用ファイル
\JPN\HTML フォルダ :	日本語用ファイル
\JPN\PASS フォルダ :	日本語用ファイル
\MAIL フォルダ :	メール用ファイル
\MAIL\TEXT フォルダ :	メール用ファイル
\KEY フォルダ :	SFTP 用ファイル
\MIDKEY フォルダ :	SFTP 用ファイル

ファイルリストの下部に表示された容量と、MAX サイズに対するパーセントを表示します。

[ROM リスト]

作成された ROM ファイル内のデータ構成が表示されます。
ROM ファイルの作成を実行すると、表示をクリアし、ROM ファイルに変換されたファイルの状況が表示されます。
英語用ファイル、日本語用ファイルで同一のファイル名、ファイル内容のものは、共通ファイルとして、1つのファイルとして扱われます。

[作成]

指定した条件でファイルリストのファイルから ROM ファイルが作成されます。
クリックすると、処理が開始されます。
作成中はキャンセルできません。
[ROM リスト] に変換された ROM データの結果が表示されます。
ファイルリストと [出力ファイル] が設定されていない場合、無効になります。
作成された ROM ファイルは、[ファームウェアダウンロード] タブでプリンタにダウンロードしてください。
ファイル数が 128 を超えた、または、ROM リストの全ファイルのトータルが「Size」をオーバーした場合、エラーメッセージが表示されます。
ファイルの読み込み、または、ROM ファイルの作成、または、保存に失敗した場合、エラーメッセージが表示されます。

ツール

プリンタを使用する上で便利な機能を使用できます。
「メニューアイコン」の「ツール」アイコンをクリックすると、表示されます。

ツールタブ



- [ファイル送信...]
- 指定したファイルがバイナリデータとしてプリンタに送信されます。
クリックすると、ファイルの選択画面が表示されます。任意のファイルを指定して「開く」をクリックすると、処理が開始されます。
処理を開始すると進行状況画面が表示され、完了すると完了画面が表示されます。
外字ファイルやプリンタコマンドファイル等をプリンタに送信する場合に使用します。
プリンタの状態に関係なく実行されます。

- 【エミュレーション】グループ
- [モード]
- エミュレーションのモードを指定します。

デフォルト値	Z Mode
設定項目	Z Mode、S Mode、D Mode、E Mode、I Mode、AUTO1、AUTO2

[エミュレーション言語]

[モード] を AUTO1 または AUTO2 に指定すると設定が可能となります。

AUTO1、AUTO2 を指定してエミュレーションを ON にするときに、自動判別の対象となるエミュレーション言語を選択します。最大3つまで、チェック可能です。

すべてチェック無しの場合は、変更されません。

デフォルト値	すべてチェック無しの状態
設定項目	Z Mode、S Mode、D Mode、E Mode

[エミュレーションを ON にする]

プリンタのエミュレーション機能を有効にします。

[エミュレーションを OFF にする]

プリンタを TPCL に切り替えます。

外字作成タブ

[指定方法]

ビットマップパスの指定方法を選択します。

1つのビットマップファイルから外字を作成する場合、「ファイル」を選択してください。

複数のビットマップファイルから外字を作成する場合、「フォルダ」を選択してください。

デフォルト値	ファイル
設定項目	ファイル、フォルダ

[場所]

登録するメモリの種別を選択します。

デフォルト値	内蔵メモリ
設定項目	内蔵メモリ、USBメモリ

※プリンタのバージョンによっては、外字作成タブで作成したTPCLコマンドがUSBメモリに登録できない場合があります。

[ビットマップパス]

ビットマップが格納された場所を指定します。

 ボタンをクリックすると、パスの選択画面で指定した場所のフルパスが表示されます。

ビットマップファイルの形式は、2色で作成されたモノクロビットマップのみ使用可能です。ビットマップの1ドットは、ペイントでサイズをピクセル単位で指定したときの1ピクセルに相当します。

〔指定方法〕で「ファイル」を選択した場合、ファイルの選択画面で1つのビットマップファイルを指定します。

指定されたファイルがモノクロビットマップでない場合、エラーメッセージが表示されます。

指定されたファイルが登録可能な幅や高さを超えている場合、エラーメッセージが表示されます。

〔指定方法〕で「フォルダ」を選択した場合、フォルダの選択画面で複数のビットマップファイルが格納されたフォルダを指定します。指定したフォルダ内のファイル名が形式と一致したビットマップファイルが〔ビットマップリスト〕に表示されます。

指定されたフォルダに正しい形式のモノクロビットマップが無かった場合、エラーメッセージが表示されます。

◆ビットマップファイル名の形式

G_“外字種類”“外字コード”(“レフトオフセット”“トップオフセット”“文字間隔”).bmp

<例> 外字種類：01、外字コード：20の場合、G_0120.bmp or G_0120_0_0_0.bmp

外字種類 : 51、外字コード : FFFF の場合、G_51FFFF.bmp or G_51FFF_0_0_0.bmp

◆ビットマップファイルの制限

[外字種類] が「41」の場合、16 x 16 ドット

[外字種類] が「42」の場合、24 x 24 ドット

[外字種類] が「43」の場合、32 x 32 ドット

[外字種類] が「44」の場合、48 x 48 ドット

[外字種類] が上記以外の場合

場所	解像度	設定範囲
内蔵メモリ	-	720x720 ドット以下
USB メモリ	203 dpi	832 x 5460 ドット以下
	300 dpi	1248 x 5460 ドット以下

[ビットマップリスト]

[ビットマップパス] に指定された場所のビットマップファイルが表示されます。

表示されたファイルは、外字ファイルを作成するための元ファイルになります。

[サイズ]

[ビットマップリスト] で選択されたビットマップファイルのサイズとイメージが表示されます。

[外字種類]

外字として登録されるときに使用する種類を指定します。

[指定方法] で「フォルダ」が選択された場合、無効になります。

デフォルト値	01
設定範囲	[場所] が「内蔵メモリ」 : 01~44、51
	[場所] が「USB メモリ」 : 01~44、51~55

[外字コード]

外字として登録されるときに使用する文字コードを HEX 形式で指定します。

2 文字で 1 文字の HEX を表します。(例 : “0”→“30”、“A”→“41”)

[指定方法] で「フォルダ」が選択された場合、無効になります。

デフォルト値	20
設定範囲	[外字種類] が「01」～「40」 : 20~FF
	[外字種類] が「41」～「44」 : 40~7E、80~FC
	[外字種類] が「51」～「55」 : 2020~FFFF

[レフトオフセット]

印字する基点座標に対する左側のオフセット量を指定します。

[外字種類] で「41」～「44」が選択された場合、無効になります。

[指定方法] で「フォルダ」が選択された場合、無効になります。

場所	解像度	設定範囲	デフォルト値
内蔵メモリ	-	0~719 ドット	0
USB メモリ	203 dpi	0~831 ドット	
	300 dpi	0~1247 ドット	

[トップオフセット]

印字する基点座標に対する上側のオフセット量を指定します。

[外字種類] で「41」～「44」が選択された場合、無効になります。

[指定方法] で「フォルダ」が選択された場合、無効になります。

デフォルト値	0 ドット
設定範囲	[場所] が「内蔵メモリ」 : 0~719 ドット
	[場所] が「USB メモリ」 : 0~5460 ドット

[文字間隔]

次の印字する文字との間隔に対する調整量を指定します。

〔外字種類〕で「41」～「44」が選択された場合、無効になります。

〔指定方法〕で「フォルダ」が選択された場合、無効になります。

場所	解像度	設定範囲	デフォルト値
内蔵メモリ	-	0～999 ドット	0
USB メモリ	203 dpi	0～832 ドット	
	300 dpi	0～1248 ドット	

[解像度]

解像度を選択します。

設定項目	203 dpi、300 dpi
------	-----------------

[確認ファイル]

作成された外字ファイルを確認するための印字コマンドファイルを作成するか否かを設定します。

チェックボックスがチェック有りの場合、指定した〔倍率〕、〔印字方式〕、〔ラベル長〕、〔ラベル幅〕の設定で印字コマンドファイルが作成されます。印字速度は“6 inch/sec”、センサーは“センサー無し”、発行タイプは“連続発行”固定になります。

プリンタに外字ファイルの登録が完了した後に送信すると登録された外字を確認することができます。

拡張子は“prn”、ファイル名は出力ファイル名になります。

〔指定方法〕で「フォルダ」が選択された場合、無効になります。

[倍率]

登録された外字を印字確認するときの倍率を選択します。

デフォルト値	1.0 x 1.0
設定項目	0.5 x 0.5、1.0 x 1.0、2.0 x 2.0、3.0 x 3.0、1.0 x 2.0、2.0 x 1.0

[印字方式]

印字方式を選択します。

デフォルト値	熱転写
設定範囲	熱転写、直接感熱

[ラベル長]

ラベルの有効印字長を指定します。ラベルギャップは2mm 固定になります。

デフォルト値	74 mm
設定範囲	8～997 mm


[ラベル幅]

ラベルの有効印字幅を指定します。

デフォルト値	104 mm
設定範囲	10～108 mm

[出力ファイル]

外字データを保存するファイルを指定します。

 ボタンをクリックすると、ファイルの選択画面が表示されます。保存するファイルを指定して〔保存〕をクリックすると、ファイル名にフルパスが表示されます。

拡張子は“gai”になります。

指定されたファイルは初期化され、作成された外字データが保存されます。

[作成]

指定した条件でビットマップからプリンタの外字コマンドが作成されます。

クリックすると、処理が開始されます。

作成中はキャンセルできません。

〔ビットマップパス〕と〔出力ファイル〕が設定されていない場合、無効になります。

〔指定方法〕で「ファイル」を選択した場合、指定されたビットマップファイルから外字ファイルが作成されます。

〔指定方法〕で「フォルダ」を選択した場合、〔ビットマップリスト〕のビットマップファイルから 1 つの外字ファイルが作成されます。

外字コマンドはニブルデータで作成されます。

作成された外字ファイルは、〔ツール〕タブの〔ファイル送信〕でプリンタに登録してください。

ファイルの読み込み、または、外字データの作成、または、保存に失敗した場合、エラーメッセージが表示されます。

テスト印字タブ

ツール

外字作成

テスト印字

印字パターン

印字パターン:

斜線1ドット印字

解像度:

203 dpi

印字条件

印字枚数:

1

枚

印字速度:

5 inch/sec

センサー:

センサー無し

発行タイプ:

連続発行

カット間隔:

0

枚

印字方式:

熱転写

ラベル長:

74

mm

ラベルギャップ:

2

mm

ラベル幅:

102

mm

濃度微調:

0

テスト印字

【印字パターン】

[印字パターン]

印字するパターンを選択します。

デフォルト値	斜線 1 ドット印字
設定項目	斜線 1 ドット印字、斜線 3 ドット印字、キャラクタ印字、バーコード印字

[解像度]

解像度を選択します。

デフォルト値	203 dpi
設定項目	203 dpi、 300 dpi

【印字条件】

[印字枚数]

印字する枚数を指定します。

デフォルト値	1 枚
設定範囲	1～9999 枚

[印字速度]

印字する速度を選択します。

デフォルト値	5 inch/sec
設定項目	解像度 203 dpi : 2 inch/sec、3 inch/sec、4 inch/sec、5 inch/sec、6 inch/sec、7 inch/sec
	解像度 300 dpi : 2 inch/sec、3 inch/sec、4 inch/sec、5 inch/sec

[センサー]

センサーを選択します。

デフォルト値	センサー無し
設定項目	センサー無し、反射センサー、透過センサー、透過センサー（手動 1）、透過センサー（手動 2）、透過センサー（手動 3）、透過センサー（手動 4）、透過センサー（手動 5）、反射センサー（手動 1）、反射センサー（手動 2）、反射センサー（手動 3）、反射センサー（手動 4）、反射センサー（手動 5）

[発行タイプ]

発行タイプを選択します。

デフォルト値	連続発行
設定項目	連続発行、剥離発行、パーシャルカット発行、ライナレスカット発行

[カット間隔]

カットする間隔を指定します。

デフォルト値	0 枚
設定範囲	0～100 枚

[印字方式]

印字方式を選択します。

デフォルト値	熱転写
設定項目	熱転写、直接感熱

[ラベル長]

ラベルの有効印字長を指定します。

デフォルト値	74 mm
設定範囲	8～997 mm

[ラベルギャップ]

ラベル間のギャップ長を指定します。

デフォルト値	2 mm
設定範囲	0～20 mm

[ラベル幅]

ラベルの有効印字幅を表示します。

この設定は変更できません。

[濃度微調整]

濃度微調整を指定します。

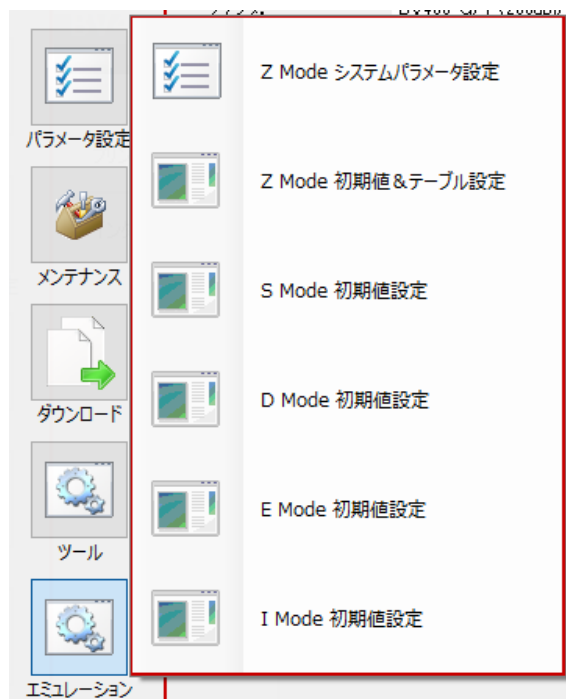
[印字方式]で指定した方式の濃度微調コマンドのみが送信されます。濃度微調コマンドで設定された値は、再設定されるまで有効になります。

デフォルト値	0
設定範囲	-10～10

エミュレーション

エミュレーションに関する設定を変更できます。

「メニューアイコン」の「エミュレーション」アイコンをクリックすると、メニュー表示されます。



Z Mode システムパラメータ 設定

Z Mode システムパラメータ 設定タブ

Z Mode システムパラメータ

ファイル名: 初期値に戻す...

単位:

ラベル長: mm

ラベル幅: mm

リボン:

発行モード:

センサー種別:

印字速度:

最大用紙長(キャリブレーション時): mm

電源投入用紙動作:

ヘッドクローズ用紙動作:

DOT/MM:

フォーマット変換:

コード設定

コントロールPREFIX("):

フォーマットPREFIX("):

デリミタ文字(.):

グラフィック座標:

タブスペース変換:

RFID書き込み位置調整: mm

RFIDオフセット印刷:

ラベルシフト: mm

有効コマンド

☒ ラベル長(LL)

☒ 用紙タイプ(MN)

☒ リボン有無(MT)

☒ 印字濃度微調(SD)

☒ 印字濃度微調(MD)

読み込み... 保存... ダウンロード... パラメータ取得...

Z Mode のシステムモードパラメータを設定します。プリンタ本体の設定項目と同じ内容が設定できます。

[単位]

デフォルト値	mm
設定項目	mm、inch

[ラベル長]

デフォルト値	105.0 mm
設定範囲	mm : 10.0～999.9 mm
	inch : 0.39～39.37 inch

[ラベル幅]

デフォルト値	104.0 mm
設定範囲	mm : 10.0～108.0 mm
	inch : 0.39～4.25 inch

[リボン]

デフォルト値	WITH RIBBON
設定項目	WITHOUT RIBBON、WITH RIBBON

[発行モード]

デフォルト値	NO CUT
設定項目	NO CUT、PEEL OFF、PEEL OFF A、WITH CUT、DELAYED CUT、RFID

[センサー種別]

デフォルト値	TRANS
設定項目	NONE、REFLECT、TRANS、TRANS PREPRINT、REFLECT MANUAL T

[印字速度]

デフォルト値	2 inch/sec (G/T)
設定項目	2 inch/sec (G/T)、3 inch/sec (G/T)、4 inch/sec (G/T)、5 inch/sec (G/T)、6 inch/sec (G)、7 inch/sec (G)

[最大用紙長（キャリブレーション時）]

デフォルト値	500.0 mm
設定範囲	mm : 10.0～999.9mm
	inch : 0.39～39.37 inch

[電源投入用紙動作]

デフォルト値	CALIBRATE
設定項目	CALIBRATE、SHORT CALIBRATE、SET LENGTH、NONE、FEED

[ヘッドクローズ用紙動作]

デフォルト値	CALIBRATE
設定項目	CALIBRATE、SHORT CALIBRATE、SET LENGTH、NONE、FEED

[DOT/MM]

デフォルト値	12 or 8 dot/mm
設定項目	12 or 8 dot/mm、6 or 4 dot/mm

[フォーマット変換]

デフォルト値	NONE
設定項目	NONE、150 -> 300、150 -> 600、200 -> 600、300 -> 600

[グラフィック座標]

デフォルト値	SPEED-ORIENTED
設定項目	SPEED-ORIENTED、PRECISE POSITION

[タブスペース変換]

デフォルト値	4
設定範囲	0～99

[RFID 書き込み位置調整]

本設定は、BV410T-G/T のみ有効

デフォルト値	0.0 mm
設定範囲	mm : -999.9～999.9 mm
	inch : -39.37～39.37 inch

[RFID オフセット印刷]

本設定は、BV410T-G/T のみ有効

デフォルト値	NONE
設定項目	NONE、WITHOUT BACKFEED、WITH BACKFEED

[ラベルシフト]

デフォルト値	0.0 mm
設定範囲	mm : -999.9～999.9 mm
	inch : -39.37～39.37 inch

— コード設定 —

1. 「コントロール PREFIX(^)」
設定範囲 : 00 ~ FF (16 進数)
2. 「フォーマット PREFIX(^)」
設定範囲 : 00 ~ FF (16 進数)
3. 「デリミタ文字(.)」
設定範囲 : 00 ~ FF (16 進数)

— 有効コマンド —

コマンドパラメータとシステムモードパラメータ(本ツールおよびプリンタ本体による設定)のどちらを有効とするのかを、チェック有／無により設定します。

チェック有りの場合 : コマンドパラメータが有効となります。(システムモードパラメータは無効)

チェック無しの場合 : システムモードパラメータが有効となります。(コマンドパラメータは無効)

1. [ラベル長(LL)]
2. [用紙タイプ(MN)]
3. [リボン有無(MT)]
4. [印字濃度微調(SD)]
5. [印字濃度微調(MD)]

<ボタン>

[読み込み]

ファイルから設定内容を読み込みます。

[保存]

設定内容をファイルに保存します。

[ダウンロード]

設定内容をプリンタにダウンロードします。

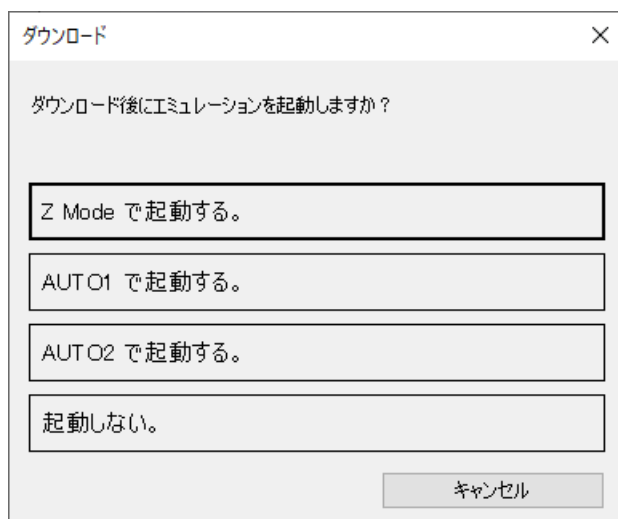
[パラメータ取得]

プリンタから設定情報を取り込みます。

[初期値に戻す]

設定内容を破棄し、初期値に戻します。

・ ダウンロード画面



ダウンロード

ダウンロード後にエミュレーションを起動しますか？

☐ Z Mode で起動する。

☐ AUTO1 で起動する。

☐ AUTO2 で起動する。

☐ 起動しない。

キャンセル

[Z Mode で起動する。]

パラメータのダウンロードを開始し、ダウンロード後は Z Mode で起動します。

[AUTO1 で起動する。]

パラメータのダウンロードを開始し、ダウンロード後は AUTO1 で起動します。
自動判別の対象となるエミュレーション言語は変更されません。

[AUTO2 で起動する。]

パラメータのダウンロードを開始し、ダウンロード後は AUTO2 で起動します。
自動判別の対象となるエミュレーション言語は変更されません。

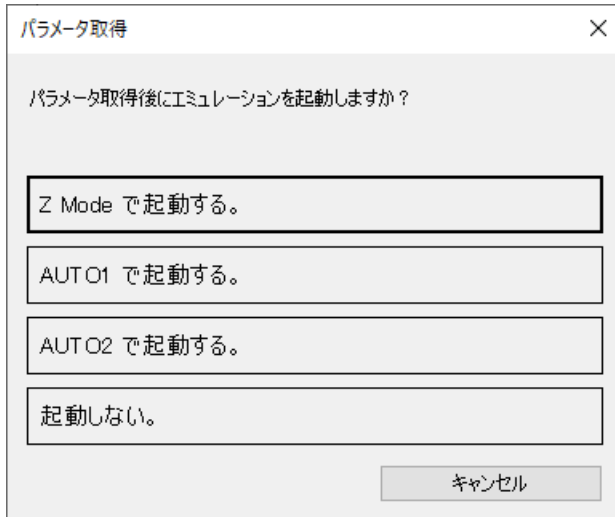
[起動しない。]

パラメータのダウンロードを開始し、ダウンロード後は TPCL モードとなります。

[キャンセル]

処理をキャンセルします。

・ パラメータ取得画面



パラメータ取得

パラメータ取得後にエミュレーションを起動しますか？

☐ Z Mode で起動する。

☐ AUTO1 で起動する。

☐ AUTO2 で起動する。

☐ 起動しない。

キャンセル

[Z Mode で起動する。]

パラメータの取得を開始し、取得後は Z Mode で起動します。

[AUTO1 で起動する。]

パラメータの取得を開始し、取得後は AUTO1 で起動します。
自動判別の対象となるエミュレーション言語は変更されません。

[AUTO2 で起動する。]

パラメータの取得を開始し、取得後は AUTO2 で起動します。
自動判別の対象となるエミュレーション言語は変更されません。

[起動しない。]

パラメータの取得を開始し、取得後は TPCL モードとなります。

[キャンセル]

処理をキャンセルします。

Z Mode 初期値&テーブル設定

Z Mode の初期値、フォント変換テーブル、ドライブの割当てを設定します。

Z Mode 初期値設定タブ

Z Mode 初期値設定

Z Mode ドライブマッピング

Z Mode 応答コマンド

初期値に戻す...

ファイル名:

Barcode(BY):

デフォルト高さ:

10

モジュールサイズ:

2

細バー太バーの比:

3.0

Field(FP):

デフォルトローテーション:

通常(左→右)

キャラクタ間ギャップ:

0

Serialization(SN):

INC/DEC:

1

☒

ゼロサプレス

Unit(MU):

単位:

dot

Field Block(FB):

矩形の幅:

0

行数:

1

行間DOT:

0

文字揃え:

左寄せ

X座標補正:

0

Graphic(GB,GC,GD):

ライン幅:

1

Darkness(SD,MD):

濃度微調値:

0

Code Page(CI):

キャラクタセット:

0

Label (LH,LS,PM,PO,PF,LT):

ラベルホームX座標:

0

ラベルホームY座標:

0

ラベル回転・ミラー印字:

戻出し印字

Yオフセット:

0

フィード微調値:

0

Print(PQ):

印字枚数:

1

カット枚数:

0

PC Save Area Allocate:

フォーマットデータ領域:

0

GETCMDZB:

動作設定:

受信バッファからデータを読み込む

読み込み...

保存...

ダウンロード...

パラメータ取得...

Z Mode でコマンドやパラメータが省略された場合の初期値とコンバータ内部の動作を設定します。

<設定項目>

【BarCode(BY)】グループ

[デフォルト高さ]

デフォルト値	10
設定範囲	1～999

[モジュールサイズ]

デフォルト値	2
設定範囲	1～10

[細バー太バーの比]

デフォルト値	3.0
設定範囲	2.0～3.0

【Field (FP)】グループ

[デフォルトローテーション]

デフォルト値	通常 (左→右)
設定項目	通常 (左→右)、縦書き、反転 (右→左)

[キャラクタ間ギャップ]

デフォルト値	0
設定範囲	0～999

【Serialization (SN)】グループ**[INC/DEC]**

デフォルト値	1
設定範囲	-9999999999～9999999999

[ゼロサプレス]

デフォルト値	チェック有り（ゼロ埋めする）
設定項目	チェック有り（ゼロ埋めする）、チェック無し（ゼロ埋めしない）

【Unit (MU)】グループ**[単位]**

デフォルト値	dot
設定項目	dot、inch、mm

【Field Block (FB)】グループ**[矩形の幅]**

デフォルト値	0
設定範囲	0～用紙幅（用紙幅を超える値は入力しないでください）

[行数]

デフォルト値	1
設定範囲	0～999

[行間 DOT]

デフォルト値	0
設定範囲	-999～999

[文字揃え]

デフォルト値	左寄せ
設定項目	左寄せ、中央寄せ、右寄せ、均等割付

[X 座標補正]

デフォルト値	0
設定範囲	0～999

【Graphic (GB,GC,GD)】グループ**[ライン幅]**

デフォルト値	1
設定範囲	0～999

【Darkness (SD,MD)】グループ**[濃度微調値]**

デフォルト値	0
設定範囲	-30～30

【Code Page (CI)】グループ**[キャラクタセット]**

デフォルト値	0
設定範囲	0～30

【Label(LH,LS,PM,PO,PF,LT)】グループ**[ラベルホーム X 座標]**

デフォルト値	0
設定範囲	0～9999

[ラベルホーム Y 座標]

デフォルト値	0
設定範囲	0～9999

[ラベル回転・ミラー印字]

デフォルト値	尻出し印字
設定項目	尻出し印字、頭出し印字、尻出しミラー印字、頭出しミラー印字

[Y オフセット]

デフォルト値	0
設定範囲	設定はできません。

[フィード微調値]

デフォルト値	0
設定範囲	-120～120

【Print (PQ)】グループ

[印字枚数]

デフォルト値	1
設定範囲	1～9999

[カット枚数]

デフォルト値	0
設定範囲	0～999

【PC Save Area Allocate】グループ

Z Mode でのフォーマット用の保存領域サイズ（ブロック数）を決定します。保存領域は TPCL の PC セーブエリアを使用します。Z Mode では PC セーブエリアをフォーマット用とグラフィック用の 2 つに分けて管理します。

PC セーブエリアとして確保された領域のうち、フォーマット用（コマンド用）に確保するエリアのブロック数を指定します。残りがグラフィック用のエリアとなります。

[フォーマットデータ領域]

0 以外の場合、フォーマット用に確保するエリアのブロック数として指定
（残りのブロック数がグラフィック用となる）

0 の場合、フォーマット用とグラフィック用でエリアのブロック数を半々として指定

デフォルト値	0
設定範囲	0～99

【GETCMDZB】グループ

[動作設定]

デフォルト値	受信バッファからデータを読み込み
設定項目	この設定は設定しても意味がありません。

<ボタン>

[読み込み]

ファイルから設定内容を読み込みます。(他のタブの設定項目も読み込まれます。)

[保存]

設定内容をファイルに保存します。(他のタブの設定項目も保存されます。)

[ダウンロード]

設定内容をプリンタにダウンロードします。(他のタブの設定項目もダウンロードされます。)

[パラメータ取得]

プリンタから設定情報を取り込みます。(他のタブの設定項目も取り込まれます。)

[初期値に戻す]

設定内容を破棄し、初期値に戻します。

Z Mode ドライブマッピングタブ

ファイル名: 初期値に戻す...

Zドライブ: TPCLドライブ:

R: ----> RAM

B: ----> USB memory

E: ----> Onboard flash memory

A: ----> USB memory

読み込み... 保存... ダウンロード... パラメータ取得...

コマンドで指定されたドライブを TPCL のどのドライブに割り当てるかを設定します。

<設定項目>

[TPCL ドライブ]

ZPL のドライブに対応した TPCL ドライブを指定します。

<ボタン>

[読み込み]

ファイルから設定内容を読み込みます。(他のタブの設定項目も読み込まれます。)

[保存]

設定内容をファイルに保存します。(他のタブの設定項目も保存されます。)

[ダウンロード]

設定内容をプリンタにダウンロードします。(他のタブの設定項目もダウンロードされます。)

[パラメータ取得]

プリンタから設定情報を取り込みます。(他のタブの設定項目も取り込まれます。)

[初期値に戻す]

設定内容を破棄し、初期値に戻します。

Z Mode 応答コマンドタブ

☒ Z Mode 初期値設定 ☒ Z Mode ドライブマッピング ☑ Z Mode 応答コマンド

ファイル名: 初期値に戻す...

HI コマンド:

HM コマンド:

HS-1 コマンド:

HS-2 コマンド:

HS-3 コマンド:

HQMA コマンド:

HQMI コマンド:

HQOD コマンド:

HQPH コマンド:

HQES コマンド:

HQHA コマンド:

HQJT コマンド:

HQPP コマンド:

HQSN コマンド:

HQUI コマンド:

読み込み... 保存... ダウンロード... パラメータ取得...

Z Mode コマンドに対する応答データを設定します。

<設定項目>

[HI コマンド]

HI コマンドの応答データを設定します。

[HM コマンド]

HM コマンドの応答データを設定します。

[HS-1 コマンド]

HS-1 コマンドの応答データを設定します。

[HS-2 コマンド]

HS-2 コマンドの応答データを設定します。

[HS-3 コマンド]

HS-3 コマンドの応答データを設定します。

[HQMA コマンド]

HQMA コマンドの応答データを設定します。

[HQMI コマンド]

HQMI コマンドの応答データを設定します。

[HQOD コマンド]

HQOD コマンドの応答データを設定します。

[HQPH コマンド]

HQPH コマンドの応答データを設定します。

[HQES コマンド]

HQES コマンドの応答データを設定します。

[HQHA コマンド]

HQHA コマンドの応答データを設定します。

[HQJT コマンド]

HQJT コマンドの応答データを設定します。

[HQPP コマンド]

HQPP コマンドの応答データを設定します。

[HQSN コマンド]

HQSN コマンドの応答データを設定します。

[HQUI コマンド]

HQUI コマンドの応答データを設定します。

ZPLCommand	コメント文字列	バイト数	受信データ
HI	プリンタモデル名-ヘッド dpi	可変長 省略可能	"B-SX4-200dpi" 等 MAX 63 バイト
		1	カンマ
	バージョン情報	可変長 省略可能	"C5.4" 等 MAX 63 バイト
		1	カンマ
	dots/mm	可変長 省略可能	8 12 数値のみ有効
		1	カンマ
	memory	可変長 省略可能	"512KB" "1024KB" "2048KB" "4096KB" "8192KB"
		1	カンマ
	オプション情報	可変長 省略可能	"CUTTER DETECTED" : カッター装着時 MAX 63 バイト
HM	全 RAM サイズ	可変長 省略可能	"8192" 等 数値のみ有効
		1	カンマ
	MaxRAM サイズ	可変長 省略可能	"8192" 等 数値のみ有効
		1	カンマ
HS String1	残 RAM サイズ	可変長 省略可能	RAM 残量 数値のみ有効
	Communication Setting	3 省略可能	ビット仕立てのデータを Decimal Ascii にて送信。 例) 7bit 目が ON の場合 16 進 : 0x80 → 10 進 : 128 送信データは"128" 数値のみ有効
		1	カンマ

ZPLCommand	コメント文字列	バイト数	受信データ
	paper out flag	1 省略可能	0 1: 紙切れ 数値のみ有効
		1	カンマ
	pause flag	1 省略可能	0 1: ポーズ中 数値のみ有効
		1	カンマ
	label length	可変長 省略可能	ラベル長 数値のみ有効
		1	カンマ
	number of formats in receive buffer	可変長 省略可能	0~999 XA~XZ フォーマット数 数値のみ有効
		1	カンマ
	buffer full flag	1 省略可能	0 1: バッファフル 数値のみ有効
		1	カンマ
	communications diagnostic mode flag	1 省略可能	0 1: ダンプモード中 数値のみ有効
		1	カンマ
	patial format flag	1 省略可能	0 1: コメント解析中 数値のみ有効
		1	カンマ
	unused	3 省略可能	000 数値のみ有効
		1	カンマ
	corrupt RAM flag	1 省略可能	0 1 数値のみ有効
		1	カンマ
	temperature range (Low)	1 省略可能	0 1: 異常 数値のみ有効
		1	カンマ
	temperature range (High)	1 省略可能	0 1: 異常 数値のみ有効
HS String2	function settings	3 省略可能	ビット仕立てのデータを Desimal Ascii にて送信。 例) 7bit 目が ON の場合 16 進: 0x80 → 10 進: 128 送信データは "128" 数値のみ有効
		1	カンマ

ZPLCommand	コメント文字列	バイト数	受信データ
	unused	1 省略可能	0 数値のみ有効
		1	カンマ
	head up flag	1 省略可能	0:ヘッドクローズ 1:ヘッドオープン 数値のみ有効
		1	カンマ
	ribbon out flag	1 省略可能	0: 1:リボン切れ 数値のみ有効
		1	カンマ
	thermal transfer mode flag	1 省略可能	0: 1:Thermal 数値のみ有効
		1	カンマ
	Print Mode	1 省略可能	0 = Rewind 1 = Peel-Off 2 = Tear-Off 3 = Cutter 4 = Applicator 5 = Delayed cut 6 = Reserved ** 7 = Reserved ** 数値のみ有効
		1	カンマ
	print width mode	1 省略可能	6 数値のみ有効
		1	カンマ
	label waiting flag	1 省略可能	0: 1:剥離待ち中 数値のみ有効
		1	カンマ
	labels remaining in batch	可変長 省略可能	残枚数 数値のみ有効
		1	カンマ
	format while printing flag	1 省略可能	1 数値のみ有効
		1	カンマ
	Number of graphic images stored in memory	可変長 省略可能	グラフィック保存数 数値のみ有効
HS String3	password	4 省略可能	"1234" 等 4 バイト固定
		1	カンマ
	static RAM	1 省略可能	0:内蔵 RAM 非搭載 1:内蔵 RAM 搭載 数値のみ有効
HQMA	HEAD REPLACEMENT INTERVAL	可変長 省略可能	50 数値のみ有効
		1	カンマ

ZPLCommand	コメント文字列	バイト数	受信データ
	HEAD REPLACEMENT FREQUENCY	可変長 省略可能	0 数値のみ有効
		1	カンマ
	HEAD CLEANING INTERVAL	可変長 省略可能	0 数値のみ有効
		1	カンマ
	HEAD CLEANING FREQUENCY	可変長 省略可能	0 数値のみ有効
		1	カンマ
	PRINT REPLACEMENT ALERT	可変長 省略可能	"NO" MAX 63 バイト
		1	カンマ
	PRINT CLEANING ALERT	可変長 省略可能	"NO" MAX 63 バイト
		1	カンマ
	UNITS	可変長 省略可能	"I" MAX 63 バイト
HQMI	CLEAN MESSAGE	可変長 省略可能	"PLEASE CLEAN PRINT HEAD" MAX 63 バイト
		1	カンマ
	REPLACE MESSAGE	可変長 省略可能	"PLEASE REPLACE PRINT HEAD" MAX 63 バイト
HQOD	TOTAL NONRESETTABLE	可変長 省略可能	PRINT 距離 数値のみ有効
		1	カンマ
	USER RESETTABLE CNTR1	可変長 省略可能	PRINT 距離 数値のみ有効
		1	カンマ
	USER RESETTABLE CNTR2	可変長 省略可能	PRINT 距離 数値のみ有効
HQPH	LAST CLEANED	可変長 省略可能	PRINT 距離 数値のみ有効
		1	カンマ
	DISTANCE 1	可変長 省略可能	PRINT 距離 数値のみ有効
HQES	ERRORS	文字列 19byte	エラー情報 例) 1 00000000 0000000B 19byte 固定 19byte に満たない場合は先頭をスペースで埋めること
		1	カンマ
	WARNINGS	文字列 19byte	ワーニング情報 例) 1 00000000 00000001 19byte 固定 19byte に満たない場合は先頭をスペースで埋めること
HQHA	MAC ADDRESS	文字列 17byte	MAC アドレス情報 例) 12:34:56:78:90:AB

ZPLCommand	コメント文字列	バイト数	受信データ
			17byte 固定 17byte に満たない場合は先頭をスペースで埋めること
HQJT	プリンタヘッドテスト情報	文字列 18byte	プリンタヘッドテスト情報 例) 1, M, 0250, 1200, 0032 ※パラメータ 1 つのみの為、カンマも文字列情報として扱う 18byte 固定 18byte に満たない場合は先頭をスペースで埋めること
HQPP	MFG	文字列 最大 30byte	メーカー情報 最大 30byte まで有効
		1	カンマ
	CMD	文字列 最大 30byte	コマンド情報 最大 30byte まで有効
		1	カンマ
	MDL	文字列 最大 30byte	プリンタモデル情報 最大 30byte まで有効
HQSN	シリアルナンバー情報	文字列 最大 35byte	プリンタシリアルナンバー情報 最大 35byte まで有効
HQUI	PID	文字列 4byte	USB_PID 情報 4byte 固定 4byte に満たない場合は先頭を 0 で埋めること
		1	カンマ
	RELEASE VERSION	文字列 5byte	RELEASE VERSION 情報 5byte 固定 5byte に満たない場合は先頭をスペースで埋めること

<ボタン>

[読み込み]

ファイルから設定内容を読み込みます。(他のタブの設定項目も読み込まれます。)

[保存]

設定内容をファイルに保存します。(他のタブの設定項目も保存されます。)

[ダウンロード]

設定内容をプリンタにダウンロードします。(他のタブの設定項目もダウンロードされます。)

[パラメータ取得]

プリンタから設定情報を取り込みます。(他のタブの設定項目も取り込まれます。)

[初期値に戻す]

設定内容を破棄し、初期値に戻します。

・ ダウンロード画面

ダウンロード

ダウンロード後にエミュレーションを起動しますか？

☐ Z Mode で起動する。

☐ AUTO1 で起動する。

☐ AUTO2 で起動する。

☐ 起動しない。

キャンセル

[Z Mode で起動する。]

パラメータのダウンロードを開始し、ダウンロード後は Z Mode で起動します。

[AUTO1 で起動する。]

パラメータのダウンロードを開始し、ダウンロード後は AUTO1 で起動します。
自動判別の対象となるエミュレーション言語は変更されません。

[AUTO2 で起動する。]

パラメータのダウンロードを開始し、ダウンロード後は AUTO2 で起動します。
自動判別の対象となるエミュレーション言語は変更されません。

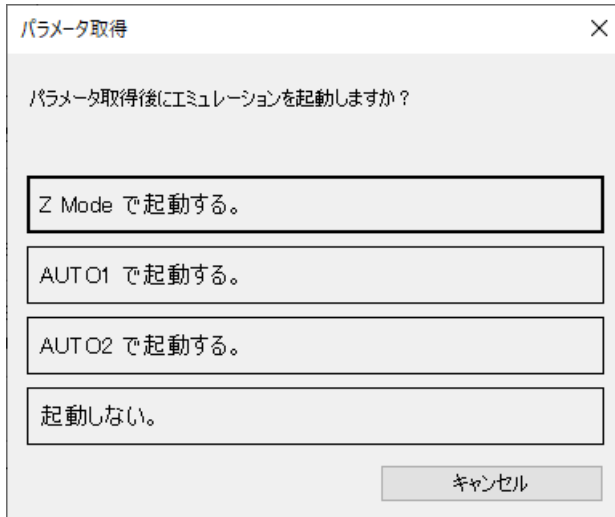
[起動しない。]

パラメータのダウンロードを開始し、ダウンロード後は TPCL モードとなります。

[キャンセル]

処理をキャンセルします。

・ パラメータ取得画面



パラメータ取得

パラメータ取得後にエミュレーションを起動しますか？

☐ Z Mode で起動する。

☐ AUTO1 で起動する。

☐ AUTO2 で起動する。

☐ 起動しない。

キャンセル

[Z Mode で起動する。]

パラメータの取得を開始し、取得後は Z Mode で起動します。

[AUTO1 で起動する。]

パラメータの取得を開始し、取得後は AUTO1 で起動します。
自動判別の対象となるエミュレーション言語は変更されません。

[AUTO2 で起動する。]

パラメータの取得を開始し、取得後は AUTO2 で起動します。
自動判別の対象となるエミュレーション言語は変更されません。

[起動しない。]

パラメータの取得を開始し、取得後は TPCL モードとなります。

[キャンセル]

処理をキャンセルします。

S Mode 初期値設定

S Mode の初期値を設定します。

S Mode 初期値設定タブ

S Mode 初期値設定

初期値に戻す...

ファイル名:

印刷設定

用紙設定

印字方式:

熱転写印刷

印字速度:

5(inch/sec)125(mm/sec) (G/T)

発行モード:

ティアオフ

センサータイプ:

ギャップ

印字濃度レンジ:

A

印字濃度:

レベル 5

ゼロスラッシュ:

有効

漢字コード:

JIS コード

漢字モード:

JIS X0208

書体:

ゴシック

プロポーショナルピッチ:

プロポーショナルピッチ

LCD省電力タイマー:

60

総発行枚数表示:

無効

ラベル自動測長:

無効

リボンニアエンド検出:

無効

再印字:

無効

ラベルサイズ(長さ):

7983

 dots

ラベルサイズ(幅):

832

 dots

縦オフセット値:

0

 dots

横オフセット値:

0

 dots

連続オフセット:

0

 dots

ティアオフオフセット:

0

 dots

カッターオフセット:

0

 dots

読み込み...

保存...

ダウンロード...

パラメータ取得...

S Mode でコマンドやパラメータが省略された場合の初期値とコンバータ内部の動作を設定します。

<設定項目>

【印刷設定】

[印字方式]

デフォルト値	熱転写印刷
設定項目	直接感熱印刷、熱転写印刷

[印字速度]

デフォルト値	6(inch/sec)150(mm/sec)
設定項目	2(inch/sec)50(mm/sec) (G/T)、3(inch/sec)75(mm/sec) (G/T)、4(inch/sec)100(mm/sec) (G/T)、5(inch/sec)125(mm/sec) (G/T) 、6(inch/sec)150(mm/sec) (G) 、7(inch/sec)175(mm/sec) (G)

[発行モード]

デフォルト値	ティアオフ
設定項目	カット発行、剥離発行、ティアオフ、連続発行、ライナレスカット、パーシャルカット

[センサータイプ]

デフォルト値	ギャップ
設定項目	アイマーク、ギャップ、センサー無効

[印字濃度レンジ]

デフォルト値	A
設定項目	A、B、C、D、E、F

[印字濃度]

デフォルト値	レベル 5
設定項目	レベル 1、レベル 2、レベル 3、レベル 4、レベル 5、レベル 6、レベル 7、レベル 8、レベル 9、レベル 10

[ゼロスラッシュ]

デフォルト値	有効
設定項目	無効、有効

[漢字コード]

デフォルト値	JIS コード
設定項目	JIS コード、シフト JIS、Unicode(UTF-16)、GB18030

[漢字モード]

デフォルト値	JIS X0208
設定項目	JIS X0208 互換、JIS X0208、JIS X0213、GB18030

[書体]

デフォルト値	ゴシック
設定項目	ゴシック、明朝

[プロポーショナルピッチ]

デフォルト値	プロポーショナルピッチ
設定項目	固定ピッチ、プロポーショナルピッチ

[LCD 省電力タイマー]

デフォルト値	60
設定範囲	0～60

[総発行枚数表示]

デフォルト値	無効
設定項目	無効、有効

[ラベル自動測長]

デフォルト値	無効
設定範囲	無効、有効

[リボンニアエンド検出]

デフォルト値	無効
設定項目	無効、有効

[再印字]

デフォルト値	無効
設定項目	無効、有効

【用紙設定】

[ラベルサイズ（長さ）]

デフォルト値	7983 dots
設定範囲	48～11775 dots

[ラベルサイズ（幅）]

デフォルト値	832 dots
設定範囲	80～1248 dots

[縦オフセット値]

デフォルト値	0 dots
設定範囲	-792～792 dots

[横オフセット値]

デフォルト値	0 dots
設定範囲	-792～792 dots

[連続オフセット]

デフォルト値	0 dots
設定範囲	-99～99 dots

[ティアオフオフセット]

デフォルト値	0 dots
設定範囲	-99～99 dots

[カッターオフセット]

デフォルト値	0 dots
設定範囲	-99～99 dots

<ボタン>

[読み込み]

ファイルから設定内容を読み込みます。

[保存]

設定内容をファイルに保存します。

[ダウンロード]

設定内容をプリンタにダウンロードします。

[パラメータ取得]

プリンタから設定情報を取り込みます。

[初期値に戻す]

設定内容を破棄し、初期値に戻します。

- ・ ダウンロード画面

ダウンロード

ダウンロード後にエミュレーションを起動しますか？

☐ S Mode で起動する。

☐ AUTO1 で起動する。

☐ AUTO2 で起動する。

☐ 起動しない。

キャンセル

〔S Mode で起動する。〕

パラメータのダウンロードを開始し、ダウンロード後は S Mode で起動します。

〔AUTO1 で起動する。〕

パラメータのダウンロードを開始し、ダウンロード後は AUTO1 で起動します。
自動判別の対象となるエミュレーション言語は変更されません。

〔AUTO2 で起動する。〕

パラメータのダウンロードを開始し、ダウンロード後は AUTO2 で起動します。
自動判別の対象となるエミュレーション言語は変更されません。

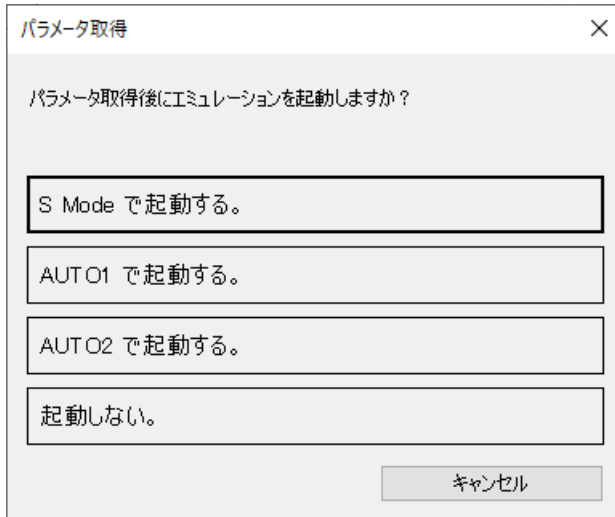
〔起動しない。〕

パラメータのダウンロードを開始し、ダウンロード後は TPCL モードとなります。

〔キャンセル〕

処理をキャンセルします。

・ パラメータ取得画面



パラメータ取得

パラメータ取得後にエミュレーションを起動しますか？

☐ S Mode で起動する。

☐ AUTO1 で起動する。

☐ AUTO2 で起動する。

☐ 起動しない。

キャンセル

〔S Mode で起動する。〕

パラメータの取得を開始し、取得後は S Mode で起動します。

〔AUTO1 で起動する。〕

パラメータの取得を開始し、取得後は AUTO1 で起動します。
自動判別の対象となるエミュレーション言語は変更されません。

〔AUTO2 で起動する。〕

パラメータの取得を開始し、取得後は AUTO2 で起動します。
自動判別の対象となるエミュレーション言語は変更されません。

〔起動しない。〕

パラメータの取得を開始し、取得後は TPCL モードとなります。

〔キャンセル〕

処理をキャンセルします。

D Mode 初期値設定

D Mode の初期値を設定します。

D Mode 初期値設定タブ

D Mode 初期値設定

D Mode 応答コマンド

初期値に戻す...

ファイル名:

Backup (Reverse) Speed: 3.0 ips

British Pound: Disable

Column Offset: 0.00 inch

Comm Heat Commands: Enable

Comm Speed Commands: Enable

Comm TOF Commands: Enable

Continuous Label Length: 7.00 inch

Control Codes: Standard

Cutter Equipped: Auto

Disable Symbol Set Selection: Disable

Feed Speed: 5.0 ips

Feedback Mode: Disable

Format Attributes: XOR

Heat: 10

Label Rotation: None

Label Width: 4.09 inch

Maximum Length Ignore: Normal processing

Maximum Length: 8.00 inch

Media Type: Thermal Transfer

Peel Mode: Disable

Present Distance: 0.00 inch

Present Sensor Equipped: Auto

Print Speed: 5.0 ips

Row Offset: 0.00 inch

SOP Emulation: Disable

Sensor Type: Gap (edge)

Single Byte Symbol Set: PM

Software Switch: Processed

Unit of Measure: Imperial

読み込み...

保存...

ダウンロード...

パラメータ取得...

D Mode でコマンドやパラメータが省略された場合の初期値とコンバータ内部の動作を設定します。

<設定項目>

[Backup (Reverse) Speed]

デフォルト値	3.0 ips
設定項目	2.0 ips、3.0 ips

[British Pound]

デフォルト値	Disable
設定項目	Disable、Enable

[Column Offset]

デフォルト値	0.00 inch
設定範囲	0.00～4.25 inch

[Comm Heat Commands]

デフォルト値	Enable
設定項目	Disable、Enable

[Comm Speed Commands]

デフォルト値	Enable
設定項目	Disable、Enable

[Comm TOF Commands]

デフォルト値	Enable
設定項目	Disable、Enable

[Continuous Label Length]

デフォルト値	7.00 inch
設定範囲	0.40～39.37 inch

[Control Codes]

デフォルト値	Standard
設定項目	Standard、Alternate、Alternate-2

[Cutter Equipped]

デフォルト値	Auto
設定項目	Auto、Enable、Disable

[Disable Symbol Set Selection]

デフォルト値	Disable
設定項目	Disable、Enable

[Feed Speed]

デフォルト値	5.0 ips
設定項目	2.0 ips、3.0 ips、4.0 ips、5.0 ips、6.0 ips、7.0 ips

[Feedback Mode]

デフォルト値	Disable
設定項目	Disable、Enable

[Format Attributes]

デフォルト値	XOR
設定項目	XOR、Transparent

[Heat]

デフォルト値	10
設定範囲	0～30

[Label Rotation]

デフォルト値	None
設定項目	Rotate 180、None

[Label Width]

デフォルト値	4.09 inch
設定範囲	0.39～4.25 inch

[Maximum Length Ignore]

デフォルト値	Normal processing
設定項目	Normal processing、Ignore

[Maximum Length]

デフォルト値	8.00 inch
設定範囲	0.40～39.37 inch

[Media Type]

デフォルト値	Thermal Transfer
設定項目	Direct、Thermal Transfer

[Peel Mode]

デフォルト値	Disable
設定項目	Disable、Enable

[Present Distance]

デフォルト値	0.00 inch
設定範囲	0.00～4.00 inch

[Present Sensor Equipped]

デフォルト値	Auto
設定項目	Auto、Enable、Disable

[Print Speed]

デフォルト値	5.0 ips
設定項目	2.0 ips、3.0 ips、4.0 ips、5.0 ips、6.0 ips、7.0 ips

[Row Offset]

デフォルト値	0.00 inch
設定範囲	0.00～39.37 inch

[SOP Emulation]

デフォルト値	Disable
設定項目	Allegro、Prodigy Plus、Prodigy、Disable

[Sensor Type]

デフォルト値	Gap (edge)
設定項目	Gap (edge)、Continuous、Reflective

[Single Byte Symbol Set]

デフォルト値	PM
設定項目	E9、PE、PG、PM、PR、PT、U8、WT

[Software Switch]

デフォルト値	Processed
設定項目	Processed、Ignore

[Unit of Measure]

デフォルト値	Imperial
設定項目	Metric、Imperial

<ボタン>

[読み込み]

ファイルから設定内容を読み込みます。(他のタブの設定項目も読み込まれます。)

[保存]

設定内容をファイルに保存します。(他のタブの設定項目も保存されます。)

[ダウンロード]

設定内容をプリンタにダウンロードします。(他のタブの設定項目もダウンロードされます。)

[パラメータ取得]

プリンタから設定情報を取り込みます。(他のタブの設定項目も取り込まれます。)

[初期値に戻す]

設定内容を破棄し、初期値に戻します。

[Cutter Fault]

デフォルト値	None
設定項目	None、Yes、No

[Paper Out]

デフォルト値	None
設定項目	None、Yes、No

[Top of Form Fault]

デフォルト値	None
設定項目	None、Yes、No

[Ribbon Low]

デフォルト値	None
設定項目	None、Yes、No

[Ready (no data or signal)]

デフォルト値	None
設定項目	None、Yes、No

[Com1 has data not parsed]

デフォルト値	None
設定項目	None、Yes、No

<ボタン>

[読み込み]

ファイルから設定内容を読み込みます。(他のタブの設定項目も読み込まれます。)

[保存]

設定内容をファイルに保存します。(他のタブの設定項目も保存されます。)

[ダウンロード]

設定内容をプリンタにダウンロードします。(他のタブの設定項目もダウンロードされます。)

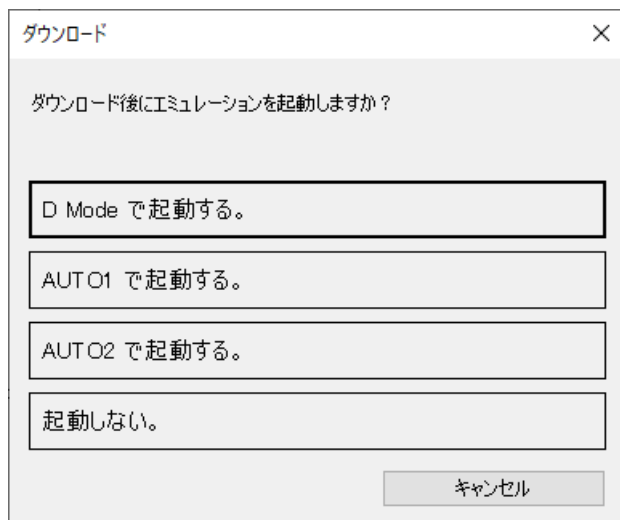
[パラメータ取得]

プリンタから設定情報を取り込みます。(他のタブの設定項目も取り込まれます。)

[初期値に戻す]

設定内容を破棄し、初期値に戻します。

・ ダウンロード画面



ダウンロード

ダウンロード後にエミュレーションを起動しますか？

☐ D Mode で起動する。

☐ AUTO1 で起動する。

☐ AUTO2 で起動する。

☐ 起動しない。

キャンセル

[D Mode で起動する。]

パラメータのダウンロードを開始し、ダウンロード後は D Mode で起動します。

[AUTO1 で起動する。]

パラメータのダウンロードを開始し、ダウンロード後は AUTO1 で起動します。
自動判別の対象となるエミュレーション言語は変更されません。

[AUTO2 で起動する。]

パラメータのダウンロードを開始し、ダウンロード後は AUTO2 で起動します。
自動判別の対象となるエミュレーション言語は変更されません。

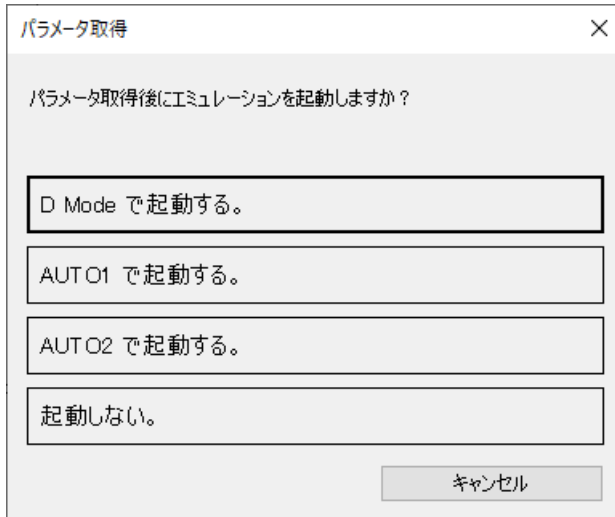
[起動しない。]

パラメータのダウンロードを開始し、ダウンロード後は TPCL モードとなります。

[キャンセル]

処理をキャンセルします。

・ パラメータ取得画面



パラメータ取得

パラメータ取得後にエミュレーションを起動しますか？

☐ D Mode で起動する。

☐ AUTO1 で起動する。

☐ AUTO2 で起動する。

☐ 起動しない。

キャンセル

〔D Mode で起動する。〕

パラメータの取得を開始し、取得後は D Mode で起動します。

〔AUTO1 で起動する。〕

パラメータの取得を開始し、取得後は AUTO1 で起動します。
自動判別の対象となるエミュレーション言語は変更されません。

〔AUTO2 で起動する。〕

パラメータの取得を開始し、取得後は AUTO2 で起動します。
自動判別の対象となるエミュレーション言語は変更されません。

〔起動しない。〕

パラメータの取得を開始し、取得後は TPCL モードとなります。

〔キャンセル〕

処理をキャンセルします。

E Mode 初期値設定

E Mode の初期値を設定します。

E Mode 初期値設定タブ

E Mode 初期値設定

初期値に戻す...

ファイル名:

単位: mm

ラベル長: 50.8 mm

ラベル幅: 76.2 mm

印刷方向: 標準

リボン: WITH RIBBON

発行モード: NO CUT

センサー種別: TRANS

印字速度: 7ips

コードページ: CodePage437

最大用紙長 (ギャリプレーション時): 500.0 mm

電源投入時用紙動作: CALIBRATE

ヘッドクローズ用紙動作: CALIBRATE

印刷濃度: 10

ラベルホームX座標: 0 dots

ラベルホームY座標: 0 dots

有効コマンド

ラベル長(Q): 有効

用紙タイプ(Q): 有効

印字濃度微調(D): 有効

印刷速度(S): 有効

読み込み...

保存...

ダウンロード...

パラメータ取得...

E Mode でコマンドやパラメータが省略された場合の初期値とコンバータ内部の動作を設定します。

<設定項目>

[単位]

デフォルト値	mm
設定項目	mm、inch

[ラベル長]

デフォルト値	50.8 mm
設定範囲	mm : 10.0～999.9 mm
	inch : 0.39～39.37 inch

[ラベル幅]

デフォルト値	76.2 mm
設定範囲	mm : 10.0～108.0 mm
	inch : 0.39～4.25 inch

[印刷方向]

デフォルト値	標準
設定項目	標準、180 度回転

[リボン]

デフォルト値	WITH RIBBON
設定項目	WITHOUT RIBBON、WITH RIBBON

[発行モード]

デフォルト値	NO CUT
設定項目	NO CUT、PEEL OFF、WITH CUT

[センサー種別]

デフォルト値	TRANS
設定項目	NONE、REFLECT、TRANS、TRANS PREPRINT、REFLECT MANUAL T

[印字速度]

デフォルト値	7ips
設定項目	2ips、3ips、4ips、5ips、6ips、7ips

[コードページ]

デフォルト値	CodePage437
設定項目	CodePage437、CodePage737、CodePage850、CodePage851、CodePage852、CodePage855、CodePage857、CodePage860、CodePage861、CodePage862、CodePage863、CodePage865、CodePage866、CodePage869、CodePage1250、CodePage1251、CodePage1252、CodePage1253、CodePage1254、CodePage1255、USASCII(7bit)、British(7bit)、German(7bit)、French(7bit)、Danish(7bit)、Italian(7bit)、Spanish(7bit)、Swedish(7bit)、Swiss(7bit)

[最大用紙長(キャリブレーション時)]

デフォルト値	500.0 mm
設定範囲	mm : 10.0～999.9 mm
	inch : 0.39～39.37 inch

[電源投入時用紙動作]

デフォルト値	CALIBRATE
設定項目	CALIBRATE、NONE

[ヘッドクローズ用紙動作]

デフォルト値	CALIBRATE
設定項目	CALIBRATE、NONE

[印刷濃度]

デフォルト値	10
設定範囲	0～15

[ラベルホームX座標]

デフォルト値	0
設定範囲	0～9999

[ラベルホームY座標]

デフォルト値	0
設定範囲	0～9999

【有効コマンド】

[ラベル長(Q)]

デフォルト値	有効
設定項目	無効、有効

[用紙タイプ(Q)]

デフォルト値	有効
設定項目	無効、有効

[印字濃度微調(D)]

デフォルト値	有効
設定項目	無効、有効

[印刷速度(S)]

デフォルト値	有効
設定項目	無効、有効

<ボタン>

[読み込み]

ファイルから設定内容を読み込みます。

[保存]

設定内容をファイルに保存します。

[ダウンロード]

設定内容をプリンタにダウンロードします。

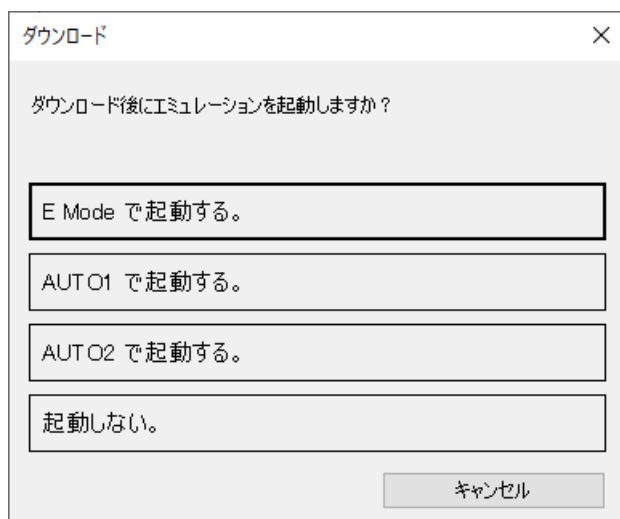
[パラメータ取得]

プリンタから設定情報を取り込みます。

[初期値に戻す]

設定内容を破棄し、初期値に戻します。

・ ダウンロード画面



ダウンロード

ダウンロード後にエミュレーションを起動しますか？

☐ E Mode で起動する。

☐ AUTO1 で起動する。

☐ AUTO2 で起動する。

☐ 起動しない。

キャンセル

〔E Mode で起動する。〕

パラメータのダウンロードを開始し、ダウンロード後は E Mode で起動します。

〔AUTO1 で起動する。〕

パラメータのダウンロードを開始し、ダウンロード後は AUTO1 で起動します。
自動判別の対象となるエミュレーション言語は変更されません。

〔AUTO2 で起動する。〕

パラメータのダウンロードを開始し、ダウンロード後は AUTO2 で起動します。
自動判別の対象となるエミュレーション言語は変更されません。

〔起動しない。〕

パラメータのダウンロードを開始し、ダウンロード後は TPCL モードとなります。

〔キャンセル〕

処理をキャンセルします。

・ パラメータ取得画面

パラメータ取得

パラメータ取得後にエミュレーションを起動しますか？

☐ E Mode で起動する。

☐ AUTO1 で起動する。

☐ AUTO2 で起動する。

☐ 起動しない。

キャンセル

[E Mode で起動する。]

パラメータの取得を開始し、取得後は E Mode で起動します。

[AUTO1 で起動する。]

パラメータの取得を開始し、取得後は AUTO1 で起動します。
自動判別の対象となるエミュレーション言語は変更されません。

[AUTO2 で起動する。]

パラメータの取得を開始し、取得後は AUTO2 で起動します。
自動判別の対象となるエミュレーション言語は変更されません。

[起動しない。]

パラメータの取得を開始し、取得後は TPCL モードとなります。

[キャンセル]

処理をキャンセルします。

I Mode 初期値設定

I Mode の初期値を設定します。

I Mode 初期値設定タブ

I Mode 初期値設定

ファイル名:

初期値に戻す...

Media Type:

Media With Gaps

Zero Slash:

Disable

Print Method:

Ribbon

Calibration Mode:

Enable

Print Speed:

5ips

Cutter:

Disable

Media Length:

7983

dots

Label Taken Sensor:

Disable

Media Width:

832

dots

X Origin:

0

dots

Y Origin:

0

dots

Code Page:

CodePage850

Darkness:

50

読み込み...

保存...

ダウンロード...

パラメータ取得...

I Mode でコマンドやパラメータが省略された場合の初期値とコンバータ内部の動作を設定します。

<設定項目>

[Media Type]

デフォルト値	Media With Gaps
設定項目	Black Mark、Continuous Fix Len、Continuous Var Len、Media With Gaps

[Print Method]

デフォルト値	Ribbon
設定項目	No Ribbon、Ribbon

[Print Speed]

デフォルト値	5ips
設定項目	4ips、5ips、6ips、7ips

[Media Length]

デフォルト値	7983 dots
設定範囲	48～11775 dots

[Media Width]

デフォルト値	832 dots
設定範囲	80～1248 dots

[X Origin]

デフォルト値	0 dots
設定範囲	-30～30 dots

[Y Origin]

デフォルト値	0 dots
設定範囲	-30～30 dots

[Code Page]

デフォルト値	CodePage850
設定項目	U.S.A.、UnitedKingdom、Germany、Denmark、France、Sweden、Italy、Spain、8-BitASCII、Switzerland、CodePage850、CodePage1250、CentralEurope、CodePage1251、Cyrillic、Russian、CodePage1252、Latin1、WesternEurope、CodePage1253、Greek、CodePage1254、Turkish、CodePage1255、Hebrew、CodePage1256、Arabic、CodePage1257、Baltic Rim、CodePage1258、Vietnamese、CodePage874、Thai、UTF-8

[Darkness]

デフォルト値	50
設定範囲	1～100

[Zero Slash]

デフォルト値	Disable
設定項目	Disable、Enable

[Calibration Mode]

デフォルト値	Enable
設定項目	Disable、Enable

[Cutter]

デフォルト値	Disable
設定項目	Disable、Enable

[Label Taken Sensor]

デフォルト値	Disable
設定項目	Disable、Enable

<ボタン>

[読み込み]

ファイルから設定内容を読み込みます。

[保存]

設定内容をファイルに保存します。

[ダウンロード]

設定内容をプリンタにダウンロードします。

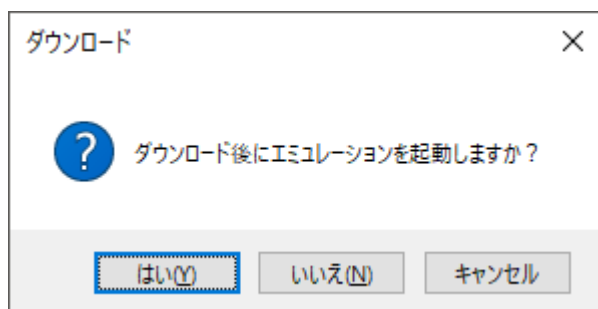
[パラメータ取得]

プリンタから設定情報を取り込みます。

[初期値に戻す]

設定内容を破棄し、初期値に戻します。

- ・ ダウンロード画面



[はい]

パラメータのダウンロードを開始し、ダウンロード後に I Mode を起動します。

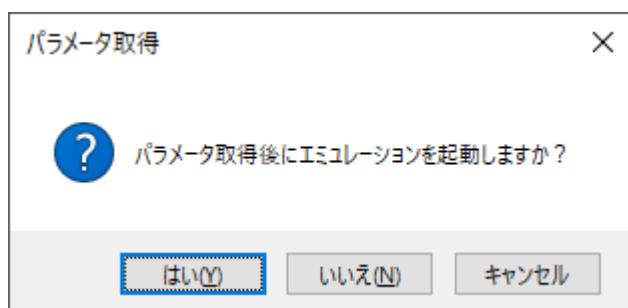
[いいえ]

パラメータのダウンロードを開始し、ダウンロード後は TPCL モードとなります。

[キャンセル]

処理をキャンセルします。

- ・ パラメータ取得画面



[はい]

パラメータの取得を開始し、取得後に I Mode を起動します。

[いいえ]

パラメータの取得を開始し、取得後は TPCL モードとなります。

[キャンセル]

処理をキャンセルします。

5 付録

エラーメッセージ一覧

メッセージ	説明
ログイン画面	
パスワードが正しくありません。 正しいパスワードを入力してください。 パスワードでは大文字と小文字が区別されます。	指定されたパスワードが間違っています。
パスワード変更画面	
古いパスワードが正しくありません。 正しいパスワードを入力してください。 パスワードは大文字と小文字が区別されます。	指定されたパスワードが、現在の設定されているパスワードと一致しません。
新しいパスワードと新しいパスワードの確認入力 が一致しません。 正しいパスワードを入力してください。 パスワードは大文字と小文字が区別されます。	新しいパスワードと新しいパスワードの確認入力に指定 されたパスワードが一致しません。
パラメータ設定画面	
指定されたファイルはプリンタの設定情報ファイ ルではありません。 正しい形式のファイルを選択してください。	指定されたファイルが読込めません。 指定されたファイルはプリンタの設定情報ファイルの形 式ではありません。
下記パラメータの読み込みに失敗しました。デフォ ルト値を設定します。 項目名 インポートする値	インポートする値が、項目名に対しての設定可能な値では ありません。 この項目の値にはデフォルト値が設定されます。 その他の項目は、インポートした値が設定されます。
指定されたファイルへの保存に失敗しました。 ファイルが書き込み可能な状態かを確認してくださ い。	指定されたファイルに書込めません。
入力された値が正しくありません。 タブ名 グループ名 項目名	指定された値が入力条件を満たしていません。
カスタム言語ファイル	
指定されたファイルはカスタム言語ファイルでは ありません。 正しい形式のファイルを選択してください。	指定されたファイルが読込めません。 指定されたファイルはカスタム言語ファイルの形式では ありません。
指定されたファイルへの保存に失敗しました。 ファイルが書き込み可能な状態かを確認してくださ い。	指定されたファイルに書込めません。

ファームウェアダウンロードタブ	
指定されたファイルはプリンタの ROM ファイルではありません。 正しい形式のファイルを指定してください。	指定されたファイルが読込めません。 指定されたファイルはプリンタの ROM ファイルの形式ではありません。
指定されたファイルは「プリンタ設定」のプリンタと異なる機種種の ROM ファイルです。 正しい ROM ファイルを選択してください。	指定された ROM ファイルのプリンタ情報がプリンタ設定画面のプリンタと一致しません。
ツールタブ	
指定されたファイルの読込みに失敗しました。 ファイルが読込み可能な状態かを確認してください。	指定されたファイルを読込めません。
外字作成タブ	
指定されたフォルダに登録可能なモノクロビットマップファイルがありません。 正しい形式のファイルがあるフォルダを指定してください。	指定されたフォルダに有効なモノクロビットマップファイルが見つかりません。 ・ ファイル名 ・ ビットマップ形式 ・ ビットマップサイズ
指定されたファイルはモノクロビットマップファイルではありません。 正しい形式のファイルを指定してください。	指定されたファイルはモノクロビットマップファイルではありません。
指定されたファイルは登録可能な外字の幅、または、高さをオーバーしています。 正しいサイズのファイルを指定してください。	ビットマップの幅、または、高さドットが外字として登録可能なドット数を超えています。
外字ファイルの作成に失敗しました。 ビットマップリストのビットマップファイルが読込み可能な状態か確認してください。	ビットマップリストのビットマップファイルが読込めません。 外字コマンドの作成に失敗しました。
指定されたファイルへの保存に失敗しました。 ファイルが書込み可能な状態かを確認してください。	指定されたファイルに書込めません。
テスト印字タブ	
印字データの作成に失敗しました。 本製品の再起動後に実行して印字できない場合、再インストールしてください。	印字するイメージを保存したファイルが読込めません。 印字コマンドの作成に失敗しました。
完了画面	
指定されたファイルへの保存に失敗しました。 ファイルが書込み可能な状態かを確認してください。	指定されたファイルに書込めません。

2023 年 9 月 第 10 版発行

発 行 東芝テック株式会社

〒141-8562

東京都品川区大崎 1 丁目 11 番 1 号
ゲートシティ大崎ウエストタワー

©東芝テック株式会社 2020-2023

無断複写および転載を禁ず